



令和8年度（2026年度）

領域学修科目パッケージ案内

新潟大学創生学部

(2026)
令和8年度新潟大学授業暦

休業(講)日
 _____ 補講日等
 () 試験日
 授業振替日

第1学期

第2学期

	第1学期							第2学期								
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
4月				1	2	3	4					1	2	3		
		5	6	7	8	9	10	11		4	5	6	7	8	9	10
		12	13	14	15	16	17	18		11	12	13	14	15	16	17
		19	20	21	22	23	24	25		18	19	20	21	22	23	24
		26	27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31
5月						1	2									
		3	4	5	6	7	8	9		1	2	3	4	5	6	7
		10	11	12	13	14	15	16		8	9	10	11	12	13	14
		17	18	19	20	21	22	23		15	16	17	18	19	20	21
		24	25	26	27	28	29	30		22	23	24	(25)	(26)	(27)	28
	31								29	(30)						
6月			1	(2)	(3)	(4)	(5)	6				(1)	2	3	4	5
		7	(8)	9	10	11	12	13		6	7	8	9	10	11	12
		14	15	16	17	18	19	20		13	14	15	16	17	18	19
		21	22	23	24	25	26	27		20	21	22	23	24	25	26
		28	29	30						27	28	29	30	31		
7月				1	2	3	4						1	2		
		5	6	7	8	9	10	11		3	4	5	6	7	8	9
		12	13	14	15	16	17	18		10	11	12	13	14	15	16
		19	20	21	22	23	24	25		17	18	19	20	21	22	23
		26	27	28	29	(30)	(31)			24	25	26	27	28	29	30
8月							1									
		2	(3)	(4)	(5)	6	7	8		7	(8)	(9)	(10)	11	(12)	13
		9	10	11	12	13	14	15		14	15	16	17	18	19	20
		16	17	18	19	20	21	22		21	22	23	24	25	26	27
		23	24	25	26	27	28	29		28						
9月			1	2	3	4	5									
		6	7	8	9	10	11	12		1	2	3	4	5	6	
		13	14	15	16	17	18	19		7	8	9	10	11	12	13
		20	21	22	23	24	25	26		14	15	16	17	18	19	20
		27	28	29	30					21	22	23	24	25	26	27

授業週数							授業週数						
第1ターム	8	8	8	8	8		第3ターム	8	8	8	8	8	
第2ターム	8	8	8	8	8		第4ターム	8	8	8	8	8	

昼間コース	
1限	8:45 ~ 10:15
2限	10:30 ~ 12:00
3限	13:00 ~ 14:30
4限	14:45 ~ 16:15
5限	16:30 ~ 18:00

夜間主コース	
6限	18:10 ~ 19:40
7限	19:45 ~ 21:15

領域学修について

1 創生学修課程の中での領域学修の位置付け

創生学部では、ディプロマ・ポリシーとして定めた以下の能力を有する人に学位（学術）を授与します。

- (1) 課題を発見し、その解決に向けて主体的に学修する態度・姿勢
- (2) 課題解決に必要な分析力・論理的思考力
- (3) 他者と協働できる自己表現力を有し、問題解決をコーディネートする能力
- (4) 専門領域の知識を有するとともに、多面的な視点から複数分野の知識を選択的に統合し、課題解決の場をデザインする能力

これらの能力を効果的に身につけるために、科目群を「導入・転換教育科目」、「基礎科目」、「リテラシーコア・課題解決実践科目」、「学修成果総括科目」、「領域学修科目」、「自由科目」と区分けしたカリキュラムが整備されています。そして、4年間のカリキュラムの中で、課題探究、解決を他の人と協働して、実践できる力を身につけていきますが、その際、必要な専門的な知識とその活用法を学修するのが、領域学修です。課題解決のための様々な分野から多角的に見る力を「リテラシーコア・課題解決実践科目」で養成しますが、社会で活躍するには自分の核となる専門性を身につけることも必要です。そのため、領域学修として、それぞれの専門性においてパッケージ化した科目群を履修します。

2 領域学修科目パッケージの概要

専門領域の学修のために、新潟大学の6学部（人文学部、法学部、経済科学部、理学部、工学部、農学部）の教育資源を活用して、21の専門領域（令和3年度改定）をそれぞれ体系的に学修することが出来る授業科目パッケージが提供されており、2年次から領域学修を開始します。

それぞれの領域学修科目パッケージでは、

- ① 概要
- ② 求める人材像
- ③ 学修を進めて行く上で、身につけることが望ましい基礎的な能力
- ④ 定員の目安

が定められています。また、各領域学修科目パッケージ（パッケージに含まれる専門科目）は、領域基礎科目と領域科目から構成されています。それぞれのパッケージの詳細は、6ページ以降に示されています。

なお、パッケージは各学部の学位プログラムに概ね対応していますが、学問分野が近い場合には複数のプログラムから1つのパッケージが提供されているものもあります。

領域学修科目は、基本的にそれぞれの学位プログラム向けに開講されている科目であり、創生学部の学生は、学位プログラムの学生と一緒に履修する事になります。従って、科目はその学位プログラム担当の教員が実施しており、創生学部の学生もその学位プログラムの履修基準、成績判定基準に沿って対応・評価されることとなります。

3 領域学修科目パッケージの選択等

【創生学修コース】

自らの学問的関心に合わせて1つのパッケージを選択します。

領域学修科目パッケージを選択するための導入科目が1年次に開講されています。「課題解決リテラシー」では、社会の課題と学問分野の関連付けを行います。「領域学修入門」では、各パッケージの概要と達成目標（学修成果）を理解します。さらに、「領域概説A～F」では、それぞれの学問領域の具体的な研究等を概観し、学問と社会の課題解決とのつながりを理解します。

これらの理解と、担任教員等とのディスカッションから、ミスマッチのない領域学修の選択を行います。

領域学修科目パッケージの履修選択は、基本的に学生の希望を優先しますが、定員の目安を超えた場合には調整することがあります。ただし、仮に希望した領域学修科目パッケージを選択できなかったとしても、全学科目化されている個々の科目の履修は可能ですので、自由科目として任意の科目を主体的に学ぶことはできます。

【DX共創コース】

工学部の「情報社会デザイン科学」パッケージとなります。

1年次に、社会の課題と学問分野の関連付けを行う「課題解決リテラシー」やゼミでのグループワークなどと併せて、データサイエンス関連の講義や演習が行われるため、領域学修科目の学修もスムーズに履修できます。

また、情報社会デザイン科学パッケージ以外の科目についても、自分の興味や必要に応じて、自由科目として任意の科目を主体的に学ぶことはできます。

【創生学修コース及びDX共創コース 共通事項】

創生学部には、パッケージを提供している学部の教育内容に精通した領域学修担当教員を配置しており、その教員並びに各提供学部の領域学修科目パッケージ代表教員とも相談できる体制が整っています。

4 領域学修全体の成果の評価

2年次から4年次第2タームまでの間で履修する領域学修（創生学修コース40単位、DX共創コース46単位）に対する成果を評価するために、4年次に履修する創生学修コースは「創生学修総括」、DX共創コースは「DX共創総括」の中で社会の課題と領域学修で学んだ内容の関係をレポートにまとめ、発表することなどによって、実際に領域学修で身につけた能力をいかに有効に活用できるかを判断し、領域学修の学修成果として認定します。

5 さらに専門領域を深く学修したい場合

領域学修科目パッケージでは、その分野の専門性として必要な基礎知識は十分に学ぶことができ、大学院進学にも対応が可能な科目が用意されています。それ以上に深く学びたい場合には、自由科目の区分を使って学ぶこともできますし、CAP制（1つの学期（＝2つのターム）で24単位以内の履修）の範囲内で、卒業要件より多くの科目を履修することも可能です。特に、大学院進学等に関連し、実験・実習科目などについてさらに履修したい場合、4年次などに履修が可能なカリキュラム構成になっています。これらの点も、担任教員等と相談して、履修計画を立てます。

人文学領域学修科目パッケージの改定について（令和3年度改定）

従前の「社会・地域文化学」及び「歴史文化学」を統合した「社会文化学」を新設し、4領域から3領域に改定しました。令和2年度以降入学者から新体制（3領域）を適用します。

○令和2年度（2020年度）以降入学者：新体制（3領域）

社会文化学領域学修科目パッケージ

言語文化学領域学修科目パッケージ

心理・人間・メディア表現文化学領域学修科目パッケージ

○令和元年度（2019年度）以前入学者：従前どおりの体制（4領域）

社会・地域文化学領域学修科目パッケージ（※）

言語文化学領域学修科目パッケージ

心理・人間・メディア表現文化学領域学修科目パッケージ

歴史文化学領域学修科目パッケージ

（※）2022年度でパッケージ選択者がすべて卒業したため、本冊子には未掲載。

工学領域学修科目パッケージの改定について（令和7年度改定）

従前の「知能情報システム」について、「情報社会デザイン科学」に変更となります。

なお、他のパッケージは、変更ありません。

○令和7年度（2025年度）以降入学者

情報社会デザイン科学領域学修科目パッケージ

○令和6年度（2024年度）以前入学者

知能情報システム領域学修科目パッケージ

領域学修科目パッケージ パッケージ案内・科目リスト

(人文学)		
1	社会文化学領域学修科目パッケージ	6
2	言語文化学領域学修科目パッケージ	8
3	心理・人間・メディア表現文化学領域学修科目パッケージ	10
4	歴史文化学領域学修科目パッケージ	12
(法学)		
5	法学領域学修科目パッケージ	14
(経済科学)		
6	経済学領域学修科目パッケージ	16
7	経営学領域学修科目パッケージ	18
(理学)		
8	数学領域学修科目パッケージ	20
9	物理学領域学修科目パッケージ	22
10	化学領域学修科目パッケージ	24
11	生物学領域学修科目パッケージ	26
12	地質科学領域学修科目パッケージ	28
13	自然環境科学領域学修科目パッケージ	30
(工学)		
14	機械システム工学領域学修科目パッケージ	32
15	社会基盤工学領域学修科目パッケージ	34
16	電子情報通信領域学修科目パッケージ	36
17	知能情報システム領域学修科目パッケージ	38
18	情報社会デザイン科学領域学修科目パッケージ	40
19	化学システム工学領域学修科目パッケージ	42
20	材料科学領域学修科目パッケージ	44
21	建築学領域学修科目パッケージ	46
(農学)		
22	生物資源科学・流域環境学領域学修科目パッケージ	48
23	応用生命科学・食品科学領域学修科目パッケージ	50

1 社会文化学 領域学修科目パッケージ

※令和2年度以降入学者適用

【パッケージ案内】

①概要	<p>本プログラムは、社会学、文化人類学、民俗学、考古学、人文地理学、芸能論、歴史学（日本史・アジア史・西洋史）の領域の教育プログラムです。</p> <p>いずれの領域も、文字資料のみならず、非文字資料から人々の営みを考え、様々な地域において形成された社会と文化の多様なあり方について多角的に学びます。また、それぞれの地域の文化的特性を歴史的に学ぶこともできます。</p>
②求める人材像	<p>しっかりとした基礎学力と旺盛な学習意欲を持つ学生を求めます。豊かな感性と強い関心を持って、学習に取り組む学生を求めます。人間の営みを具体的な資料に基づいて広く深く理解する力を身に付け、それぞれの専門性を活かした職業で活躍できる人材となることを希望します。</p>
③学修を進めて行く上で、身につけることが望ましい基礎的な能力	<p>* 社会・地域文化学、歴史学の基礎的な知識 （「社会文化学入門A/B」を1～2年次で履修していることが望ましいです。）</p> <p>* 人文科学について基礎的な知識理解</p> <p>以下の様な学修課程を念頭に置いてください。</p> <p>まず、自らのテーマを主体的に設定し、設定したテーマについて基本的な知識を体系的に整理し、理解することが必要になります。つぎに、自らの設定したテーマを論じるために適切な資料を集め、それを分析することが求められます。さらにそのテーマについて論理的に議論を行い、文章化する思考力を養うことを目指します。</p>
④定員の目安	8名（ただし、令和2年度入学者は10名）
その他留意事項	<p>令和7年度以降の入学者が「社会文化学入門A」または「社会文化学入門B」を履修した場合、いずれかの科目を「領域概説C（人文学）」を履修したとみなします。</p> <p>（令和2年度以降入学者から選択可）</p>

1 社会文化学 領域学修科目パッケージ 【令和2年度以降入学者適用】

【パッケージ科目リスト】

- ・開講番号・授業担当者・ターム・曜日・時限は、令和8年度の開講状況です。
(2026.2.24現在の科目開設計画に基づき掲載しています。)
- ・掲載している開講番号・授業担当者(代表教員)・ターム・曜日時限は変更される場合があります。
変更後の内容及び教室は、Webシラバスにより確認してください。

	開講番号	科目名	授業担当者	単位	ターム	曜限	備考	
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39	260H1003	社会文化学入門A	松井 克浩・他	2	第3,4ターム	木5	令和7年度以降入学者は対象外(注)	
	262H2029	芸術論概説	中本 真人	2	第2ターム	月3,月4	2年生以上、芸術論概説A,Bとの重複履修不可	
	260H2028	民俗学概説	山田 祐紀	2	第1,2ターム	木2	2年生以上、民俗学概説A,Bとの重複履修不可	
	262H2024	文化人類学概説	園田 浩司	2	第2ターム	火2,金2	2年生以上、文化人類学概説A,Bとの重複履修不可	
	261H2025	考古学概説	白石 典之	2	第1ターム	月4,木4	2年生以上、考古学概説Bとの重複履修不可	
	264H2018	社会学概説	杉原 名穂子	2	第4ターム	月2,木2	2年生以上、社会学概説A~Cとの重複履修不可	
	263G7512	文化人類学の方法―他者へのまなざし	園田 浩司	2	第3ターム	火2,金2		
	260G7508	アクターネットワークの社会学	伊藤 嘉高	2	第3,4ターム	木3		
	264G7511	つながりと絆の社会学	杉原 名穂子	2	第4ターム	月3,木3		
	263G7516	現代社会論	松井 克浩	2	第3ターム	水1,水2		
	261H2067	社会調査法A	杉原 名穂子	2	第1ターム	金3,金4	2年生以上	
	262H2069	社会調査法B	伊藤 嘉高	2	第2ターム	火4,火5	2年生以上	
		休講	社会解析論		2			2年生以上、隔年開講
	264H2026	地理学概説	堀 健彦	2	第4ターム	金3,金4	2年生以上	
	263H2027	地誌学概説	堀 健彦	2	第3ターム	金3,金4	2年生以上	
	260H1004	社会文化学入門B	片桐 昭彦	2	第3,4ターム	火5	令和7年度以降入学者は対象外(注)、(担当教員毎年変更)	
	260G3704	地域を探究	原 直史・他	2	第3,4ターム	水3	人文系展開科目Dとの重複履修不可	
	260H2033	史学概説	広川 佐保・他	2	第1,2ターム	水2	2年生以上	
	261H2034	日本史概説	中村 元・他	2	第1ターム	火2,金2	2年生以上	
	263H2037	アジア史概説	山内 民博	2	第3ターム	月3,木3	2年生以上	
	261H2038	西洋史概説	高橋 康浩	2	第1ターム	火3,火4	2年生以上	
	260H2035	古文書学概説A	片桐 昭彦	2	第1,2ターム	火5	2年生以上	
	260H2036	古文書学概説B	原 直史	2	第3,4ターム	火5	2年生以上	
	260H2089	アジア史実習A	山内 民博・他	1	第1,2ターム	火2	2年生以上、隔年開講	
	260H2090	アジア史実習B	広川 佐保	1	第3,4ターム	木2	2年生以上、隔年開講	
		休講	アジア史実習C		1			2年生以上、隔年開講
		休講	アジア史実習D		1			2年生以上、隔年開講
	260H2091	西洋歴史文化研究法A	高橋 秀樹	2	第1,2ターム	金5	2年生以上	
	260H2092	西洋歴史文化研究法B	高橋 秀樹	2	第3,4ターム	金5	2年生以上	
		休講	歴史学A		2			
		休講	歴史学E		2			
		休講	歴史学G		2			
	263G7524	歴史学H	吉田 章人	2	第3ターム	月2,木2		
	261G7055	歴史学I	川西 裕也	2	第1ターム	火3,火4		
		休講	歴史学K		2			
		休講	歴史学O		2			
	263G7525	歴史学P	片桐 昭彦	2	第3ターム	火2,金2		
	262G7056	歴史学Q	山内 民博	2	第2ターム	月1,月2		
		休講	歴史学V		2			
40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76	260H4029	民俗文化論A	山田 祐紀	2	第3,4ターム	木2	3年生以上、隔年開講	
		休講	民俗文化論B		2		3年生以上、隔年開講	
		休講	民俗文化論C		2		3年生以上、隔年開講	
	260H4047	民俗文化論D	飯島 康夫	2	集中	集中	3年生以上、隔年開講	
	260H4026	考古学A	辻田 淳一郎	2	集中	集中	3年生以上、日本原始社会論A,Bとの重複履修不可	
	260H4027	考古学B	森 貴教	2	第1,2ターム	火4	3年生以上、日本文化起源論A,Bとの重複履修不可	
		休講	芸術文化論A		2		3年生以上、日本芸術文化論A,Bとの重複履修不可、隔年開講	
	261H4030	芸術文化論B	中本 真人	2	第1ターム	月3,月4	3年生以上、日本芸術文化論A,Bとの重複履修不可、隔年開講	
	260H4071	文化人類学A	園田 浩司	2	第3,4ターム	水2	3年生以上、隔年開講	
	260H4024	文化人類学B	二文字屋 脩	2	集中	集中	3年生以上、隔年開講	
		休講	社会意識論		2		3年生以上、隔年開講	
	261H4019	家族社会学	杉原 名穂子	2	第1ターム	火2,金2	3年生以上、隔年開講	
	260H4018	現代社会論A	園田 浩司	2	第3,4ターム	金4	3年生以上	
		休講	現代社会論B		2		3年生以上、社会学Bとの重複履修不可	
		休講	地域社会学		2		3年生以上、隔年開講	
		休講	社会福祉学		2		3年生以上、隔年開講	
	260H4028	地理学A	目代 邦康	2	集中	集中	3年生以上	
		休講	地理学B		2		3年生以上	
	260H3011	歴史文化学基礎演習	中村 元	2	第3,4ターム	水2	2年生以上	
	260H4037	日本国家史A	中林 隆之	2	集中	集中	3年生以上、隔年開講	
	263H4038	日本国家史B	中村 元	2	第3ターム	金3,金4	3年生以上、隔年開講	
		休講	日本社会史A		2		3年生以上、隔年開講	
	264H4039	日本社会史B	原 直史	2	第4ターム	火2,金2	3年生以上、隔年開講	
	260H4040	日本地域史A	片桐 昭彦	2	第1,2ターム	金4	3年生以上、隔年開講	
		休講	日本地域史B		2		3年生以上、隔年開講	
		休講	環東アジア社会論		2		3年生以上、隔年開講	
		休講	中国社会論		2		3年生以上、隔年開講	
		休講	朝鮮社会論		2		3年生以上、隔年開講	
	260H4041	アジア歴史文化論A	赤坂 恒明	2	集中	集中	3年生以上、隔年開講	
	261H4042	アジア歴史文化論B	山内 民博	2	第1ターム	月3,月4	3年生以上、隔年開講	
	262H4043	アジア歴史文化論C	村上 正和	2	第2ターム	月3,月4	3年生以上、隔年開講	
		休講	西洋地域史A		2		3年生以上、隔年開講	
	260H4044	西洋地域史B	森田 直子	2	集中	集中	3年生以上、隔年開講	
		休講	西洋社会史A		2		3年生以上、隔年開講	
	263H4045	西洋社会史B	高橋 康浩	2	第3ターム	火3,火4	3年生以上、隔年開講	
		休講	西洋文化史A		2		3年生以上、隔年開講	
	261H4045	西洋文化史B	細田 あや子	2	第1ターム	火3,火4	3年生以上、隔年開講	

【注意事項】

令和7年度以降の入学者が「社会文化学入門A」または「社会文化学入門B」を履修した場合、いずれかの科目を「領域概説C(人文学)」を履修したとみなす。

2 言語文化学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ案内】

①概要	<p>・アジアという地域のなかで相互に影響を与えながら、それぞれ独自の文化を形成した日本・中国・朝鮮の、特に言語文化を学びます。</p> <p>または、</p> <p>・ヨーロッパおよびアメリカの共通の歴史的・文化的な核を共有しながら、同時にイギリス、アメリカ、ドイツ、フランス、ロシアそれぞれの言語文化の特徴を個別的に学びます。</p>
②求める人材像	<p>豊かな感受性と正確な分析能力・表現能力を身につけ、異なる価値観を持つ人々とも意思疎通をはかり、新たな関係性を築いていくことができる人。</p>
③学修を進めて行く上で、身につけることが望ましい基礎的な能力	<p>・日本語および日本語による文学作品についての基本的な知識</p> <p>または、</p> <p>・中国語または朝鮮語の基礎的な運用能力（読む・書く・聞く・話す）</p> <p>または、</p> <p>・英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語の文学作品・芸術作品についての基本的な知識</p> <p>・英語およびドイツ語、フランス語、ロシア語などの基礎的運用能力（読む・書く・聞く・話す）</p>
④定員の目安	8名
その他留意事項	<p>令和7年度以降の入学者が「言語文化学入門A」または「言語文化学入門B」を履修した場合、いずれかの科目を「領域概説C（人文学）」を履修したとみなします。</p>

2 言語文化学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ科目リスト】

- ・開講番号・授業担当者・ターム・曜日・時間は、令和8年度の開講状況です。
(2026.2.24現在の科目開設計画に基づき掲載しています。)
- ・掲載している開講番号・授業担当者(代表教員)・ターム・曜日・時間は変更される場合があります。
変更後の内容及び教室は、Webシラバスにより確認してください。

	開講番号	科目名	授業担当者	単位	ターム	曜限	備考	
領域 基礎科目 (言語文化学)	263H1005	言語文化学入門A	三ツ井 正孝	2	第3ターム	月4,木4	日本・アジア言語文化入門との重複履修不可 令和7年度以降入学者は対象外(注)	
	264H1006	言語文化学入門B	大竹 芳夫	2	第4ターム	月4,木4	西洋言語文化入門との重複履修不可 令和7年度以降入学者は対象外(注)	
	260H2040	日本・アジア言語文化概説	三ツ井 正孝	2	第1,2ターム	月5	2年以上対象科目	
	260H2043	日本文学概説A	高橋 早苗	2	第3,4ターム	火5	2年以上対象科目、隔年開講	
	260H2044	日本文学概説B	廣部 俊也	2	第1,2ターム	水4	2年以上対象科目	
	260H2045	日本文学概説C	長沼 光彦	2	第1,2ターム	木1	2年以上対象科目、隔年開講	
	260H2041	日本語学概説A	三ツ井 正孝	2	第1,2ターム	火2	2年以上対象科目	
	260H2042	日本語学概説B	三ツ井 正孝	2	第3,4ターム	火2	2年以上対象科目	
	260H2046	アジア言語文化概説A	教員未定	2	第3,4ターム	金2	2年以上対象科目	
	260H2047	アジア言語文化概説B	干野 真一	2	第3,4ターム	火5	2年以上対象科目	
	260H2048	アジア言語文化概説C	小島 明子	2	第1,2ターム	月4	2年以上対象科目	
	260H2049	西洋言語概説	G. ハドリリー	2	第3,4ターム	火3	2年以上対象科目、隔年開講	
		休講	西洋文化概説		2			2年以上対象科目、隔年開講
	260H2050	英米文化概説A	市橋 孝道	2	第1,2ターム	木3	2年以上対象科目	
	260H2051	英米文化概説B	平野 幸彦	2	第3,4ターム	木4	2年以上対象科目	
		休講	英米言語概説A		2			2年以上対象科目、隔年開講
	260H2052	英米言語概説B	秋 孝道	2	第1,2ターム	金4	2年以上対象科目、隔年開講	
	260H2053	ドイツ言語文化概説A	馬場 大介	2	第1,2ターム	火3	2年以上対象科目	
		休講	ドイツ言語文化概説B		2			2年以上対象科目、隔年開講
		休講	フランス言語文化概説A		2			2年以上対象科目、隔年開講
	260H2055	フランス言語文化概説B	津森 圭一	2	第1,2ターム	金4	2年以上対象科目、隔年開講	
	260H2056	ロシア言語文化概説A	鈴木 正美	2	第1,2ターム	月5	2年以上対象科目	
	260H2057	ロシア言語文化概説B	畔柳 千明	2	第3,4ターム	金3	2年以上対象科目	
	260H2093	日本語文化実習A	磯貝 淳一	1	第1,2ターム	木2	2年以上対象科目	
	260H2094	日本語文化実習B	磯貝 淳一	1	第3,4ターム	木2	2年以上対象科目	
	260H2095	日本語文化実習C	高橋 早苗	1	第1,2ターム	水1	2年以上対象科目、隔年開講	
		休講	日本語文化実習D		1			2年以上対象科目、隔年開講
		休講	アジア言語文化研究法A		2			2年以上対象科目
	260H2096	アジア言語文化研究法B	干野 真一	2	第1,2ターム	火5	2年以上対象科目、重複履修不可	
	260H2097	アジア言語文化研究法B	藤石 貴代	2	第3,4ターム	木5		
	260H2098	西洋言語文化研究法A	市橋 孝道	2	第3,4ターム	木3	2年以上対象科目	
	260H2099	西洋言語文化研究法B	逸見 龍生	2	第3,4ターム	火3	2年以上対象科目、隔年開講	
	260H2100	西洋言語文化研究法C	畔柳 千明	2	第1,2ターム	火3	2年以上対象科目、隔年開講	
	260H3015	アジア言語文化基礎演習	小島 明子	2	第1,2ターム	木3	2年以上対象科目	
	260H3016	英米言語文化基礎演習A	平野 幸彦	2	第1,2ターム	水3	2年以上対象科目	
	260H3017	英米言語文化基礎演習B	大竹 芳夫	2	第1,2ターム	火3	2年以上対象科目	
	260H3019	ドイツ言語文化基礎演習A	馬場 大介	2	第1,2ターム	水3	2年以上対象科目	
	260H3020	ドイツ言語文化基礎演習B	A. ホップ	2	第3,4ターム	木3	2年以上対象科目	
	260H3021	フランス言語文化基礎演習A	逸見 龍生	2	第1ターム	火3,火4	2年以上対象科目	
	260H3022	フランス言語文化基礎演習B	津森 圭一	2	第3,4ターム	金2	2年以上対象科目	
	260H3023	ロシア言語文化基礎演習A	アクマツリエロ ジャクシルク	2	集中	集中	2年以上対象科目	
	260H3024	ロシア言語文化基礎演習B	畔柳 千明	2	第1,2ターム	月3	2年以上対象科目	
		休講	言語学概説A		2			2年以上対象科目、隔年開講
	260H2039	言語学概説B	江畑 冬生	2	第1,2ターム	月4	2年以上対象科目、隔年開講	
		休講	日本語文化論		2			2年以上対象科目
	260H3013	日本語文化基礎演習A	長沼 光彦	2	第1,2ターム	火4	2年以上対象科目	
	260H3014	日本語文化基礎演習B	三ツ井 正孝	2	第3,4ターム	火4	2年以上対象科目	
	260H2101	デジタル文献情報学研究法	小風 綾乃	2	第3,4ターム	水4	2年以上対象科目	
	260H2058	Introduction to Transcultural Encounters A	G. ハドリリー	2	第3,4ターム	火4	2年以上対象科目	
	260H2059	Introduction to Transcultural Encounters B	逸見 龍生	2	第3,4ターム	水5	2年以上対象科目	
領域 科目 (言語文化学)		休講	日本古典文学論A	2			3年以上対象科目、隔年開講	
	260H4049	日本古典文学論B	高橋 早苗	2	第1,2ターム	火5	3年以上対象科目、隔年開講	
	260H4050	日本伝統文芸論A	高橋 秀樹	2	第3,4ターム	水2	3年以上対象科目	
		休講	日本伝統文芸論B		2		3年以上対象科目	
	260H4051	日本近代文学論A	長沼 光彦	2	第3,4ターム	木1	3年以上対象科目、隔年開講	
		休講	日本近代文学論B		2		3年以上対象科目、隔年開講	
	260H4052	古代日本語論A	磯貝 淳一	2	第1,2ターム	火3	3年以上対象科目、隔年開講	
	260H4053	古代日本語論B	磯貝 淳一	2	第3,4ターム	火3	3年以上対象科目、隔年開講	
		休講	近代日本語論A		2		3年以上対象科目、隔年開講	
		休講	近代日本語論B		2		3年以上対象科目、隔年開講	
	260H4054	アジア言語文化論A	中西 千香	2	集中	集中	3年以上対象科目、隔年開講	
		休講	アジア言語文化論B		2		3年以上対象科目、隔年開講	
	260H4055	中国言語文化論A	干野 真一	2	第3,4ターム	水3	3年以上対象科目、隔年開講	
		休講	中国言語文化論B		2		3年以上対象科目、隔年開講	
	260H4056	中国文芸文化論A	小島 明子	2	第3,4ターム	木2	3年以上対象科目、隔年開講	
		休講	中国文芸文化論B		2		3年以上対象科目、隔年開講	
	260H4057	中国思想文化論	修 斌	2	第1,2ターム	金2	3年以上対象科目	
	260H4058	朝鮮言語文化論	藤石 貴代	2	第3,4ターム	火4	3年以上対象科目	
	260H4059	環東アジア言語文化論	高橋 秀樹	2	第1,2ターム	水2	3年以上対象科目	
	260H4060	英米文芸論	平野 幸彦	2	第3,4ターム	金2	3年以上対象科目	
	260H4061	ドイツ文芸論	馬場 大介	2	第3,4ターム	水3	3年以上対象科目、隔年開講	
	260H4062	英米文化論A	市橋 孝道	2	第1,2ターム	金2	3年以上対象科目	
	260H4063	英米文化論B	G. ハドリリー	2	第3,4ターム	月3	3年以上対象科目	
		休講	英米言語論A		2		3年以上対象科目、隔年開講	
	260H4064	英米言語論B	大竹 芳夫	2	第1,2ターム	水2	3年以上対象科目、隔年開講	
		休講	言語体系論		2		3年以上対象科目、隔年開講	
	260H4048	言語行動論	江畑 冬生	2	第3,4ターム	月4	3年以上対象科目、隔年開講	
		休講	ドイツ言語文化論A		2		3年以上対象科目、隔年開講	
		休講	ドイツ言語文化論B		2		3年以上対象科目、隔年開講	
	260H4066	ドイツ言語文化論C	A. ホップ	2	第1,2ターム	木3	3年以上対象科目、隔年開講	
		休講	フランス言語文化論A		2		3年以上対象科目	
	260H4067	フランス言語文化論B	津森 圭一	2	第3,4ターム	木5	3年以上対象科目、隔年開講	
		休講	フランス言語文化論C		2		3年以上対象科目	
		休講	ロシア言語文化論A		2		3年以上対象科目、隔年開講	
	260H4068	ロシア言語文化論B	鈴木 正美	2	第3,4ターム	月5	3年以上対象科目	
	260H4069	ロシア言語文化論C	畔柳 千明	2	第1,2ターム	金2	3年以上対象科目、隔年開講	
	260H4070	Transcultural Encounters A	逸見 龍生	2	第1,2ターム	水5	3年以上対象科目、隔年開講	
		休講	Transcultural Encounters B		2		3年以上対象科目	

【注意事項】

令和7年度以降の入学者が「言語文化学入門A」または「言語文化学入門B」を履修した場合、いずれかの科目を「領域概説C(人文学)」を履修したとみなす。

3 心理・人間・メディア表現文化学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ案内】

<p>①概要</p>	<p>・心理学では、人間の行動やその心の働きの問題に、実験や調査などの実証的方法によってアプローチします。一連の講義においては、幅広い領域にわたる心理学の基礎知識を習得することを目指します。</p> <p>・人間学（哲学、宗教学、芸術学）では、原典文献を読み解くことを通じて、思想、哲学、倫理、宗教、芸術などに現れる人間性について理解を深めます。</p> <p>・メディア・表現文化学では、今日のメディア・表現文化の多様な面について理論と実践の両面から幅広く学び、的確でバランスの取れた情報の受容・分析・伝達・編集を行うとともに、価値ある情報を社会に送り出していくことのできる力を身に付けます。</p>
<p>②求める人材像</p>	<p>・人間の心理や思想に旺盛な関心を持っている人</p> <p>または、</p> <p>・情報社会とマスコミュニケーションの現状、映像や身体を介した芸術表現の発展、サブカルチャーとネット文化など、今日のメディア・表現文化の多様な面について、理論と実践の両面から幅広く学習し、それらに応用することができる意欲を持っている人</p>
<p>③学修を進めて行く上で、身につけることが望ましい基礎的な能力</p>	<p>・心理・人間学の基礎的な理解（「心理・人間学入門」）</p> <p>・メディア表現文化学の基礎的な理解（「メディア・表現文化入門」）</p>
<p>④定員の目安</p>	<p>8名</p>
<p>その他留意事項</p>	<p>令和7年度以降の入学者が「心理・人間学入門」を履修した場合、「領域概説C（人文学）」を履修したとみなします。</p>

3 心理・人間・メディア表現文化学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ科目リスト】

- ・開講番号・授業担当者・ターム・曜日・時限は、令和8年度の開講状況です。
(2026.2.24現在の科目開設計画に基づき掲載しています。)
- ・掲載している開講番号・授業担当者(代表教員)・ターム・曜日時限は変更される場合があります。
変更後の内容及び教室は、Webシラバスにより確認してください。

	開講番号	科目名	授業担当者	単位	ターム	曜限	備考	
領域基礎科目 (心理・人間・メディア表現文化学)	260H1002	心理・人間学入門	福島 治	2	第3,4ターム	月5	令和7年度以降入学者は対象外(注)	
	260H2007	哲学概説	岡嶋 隆佑	2	第1,2ターム	水5		
	260H2009	西洋哲学史概説	阿部 ふく子	2	第3,4ターム	水3	西洋哲学史概説A・B(2020まで)との重複履修不可	
	260H2008	倫理学概説	須田 悠基	2	第3,4ターム	金3		
	262H2011	宗教学概説	青柳 かおる	2	第2ターム	火3,火4		
	261H2001	心理学概説A	新美 亮輔	2	第1ターム	月2,木2	心理学概説A(2018まで)との重複履修不可	
	262H2002	心理学概説B	福島 治	2	第2ターム	月2,木2	心理学概説B(2018まで)との重複履修不可	
	260E6177	文化社会論基礎	土屋 太祐	2	第1,2ターム	水2		
	260E6179	映像社会論基礎	キム・ジュニアン	2	第1,2ターム	月3		
	260H2012	芸術学概説A	田中 咲子	2	第1,2ターム	火2		
	263H2013	芸術学概説B	甲斐 義明	2	第3ターム	月1,月2	芸術表現論概説との重複履修不可	
	261H2014	芸術学概説C	石田 美紀	2	第1ターム	金3,金4		
		休講	情報メディア論概説A		2			隔年開講
	260H2021	情報メディア論概説B	中村 隆志	2	第3,4ターム	月3	隔年開講	
	260H2003	知覚・認知心理学A	中嶋 豊	2	第3,4ターム	火2	知覚心理学(2018まで)との重複履修不可	
		休講	学習・言語心理学		2			学習心理学(2018まで)との重複履修不可、隔年開講
	264H2004	社会・集団・家族心理学	福島 治	2	第4ターム	金3,金4	社会心理学(2018まで)との重複履修不可	
	260H2005	産業・組織心理学	中嶋 豊	2	第1,2ターム	火2	隔年開講	
	260H2006	人間学概説	安田 将	2	第1,2ターム	月4		
	260H2022	メディア社会文化論概説A	古賀 豊	2	第1,2ターム	火5		
	260H2023	メディア社会文化論概説B	榎本 千賀子	2	第3,4ターム	木3		
領域科目 (心理・人間・メディア表現文化学)	260H4009	西洋近現代哲学史	岡嶋 隆佑	2	第3,4ターム	金3	隔年開講	
	260H4007	哲学研究B	阿部 ふく子	2	第1,2ターム	木5	隔年開講	
		休講	倫理学研究A		2			生命環境倫理学(2019まで)との重複履修不可、隔年開講
	260H4010	倫理学研究B	須田 悠基	2	第3,4ターム	月2	隔年開講	
	260H4006	人間学特殊講義	西川 耕平	2	集中	集中		
		休講	西洋古代中世哲学史		2			隔年開講
	260H4011	科学思想史	坪井 祥吾	2	第1,2ターム	水4		
	263H4012	宗教思想史A	青柳 かおる	2	第3ターム	火3,火4	隔年開講	
		休講	宗教思想史B		2			隔年開講
	260H4021	メディア社会文化論A	古賀 豊	2	第3,4ターム	火5	メディア文化論Aとの重複履修不可、隔年開講	
		休講	メディア社会文化論B		2			メディア文化論Bとの重複履修不可、隔年開講
		休講	情報メディア論A		2			隔年開講
	260H4020	情報メディア論B	中村 隆志	2	第2ターム	金3,金4	隔年開講	
	260H4022	メディア論特論A	羽鳥 隆英	2	集中	集中		
	260H4023	メディア論特論B	大月 希望	2	集中	集中		
	261H4014	芸術表現論	甲斐 義明	2	第1ターム	月1,月2	隔年開講	
	260E6185	Anime History	キム・ジュニアン	2	第3,4ターム	水4	表象文化論Aとの重複履修不可	
	260E6183	表象文化論	番場 俊	2	第1,2ターム	水4		
	263E6184	視覚社会論	石田 美紀	2	第3ターム	金1,金2		
	262H4001	感情・人格心理学	福島 治	2	第2ターム	金3,金4	人格心理学(2019まで)との重複履修不可、隔年開講	
		休講	知覚・認知心理学B		2			認知心理学(2018まで)との重複履修不可、隔年開講
	263H4002	発達心理学	小林 恵	2	第3ターム	金3,金4	隔年開講	
		休講	応用心理学		2			隔年開講
		休講	哲学プラクティス		2			隔年開講
		休講	哲学研究A		2			隔年開講
	260H4008	哲学研究C	安田 将	2	第1,2ターム	月5	隔年開講	
	260H4015	造形芸術論	田中 咲子	2	第1,2ターム	水3	隔年開講	
		休講	西洋美術史		2			隔年開講
		休講	比較芸術論		2			隔年開講
	休講	視覚文化論		2			隔年開講	
	休講	聴覚文化論		2			隔年開講	
263H4017	映像文化論	石田 美紀	2	第3ターム	金1,金2	隔年開講		
260H4016	美学	荒井 直美	2	第3,4ターム	月5	隔年開講		
260H2015	古典語A	安田 将	2	第3,4ターム	水1	(2026追加)		

【注意事項】

令和7年度以降の入学者が「心理・人間学入門」を履修した場合、「領域概説C(人文学)」を履修したとみなす。

4 歴史文化学 領域学修科目パッケージ

※令和元年度（2019年度）以前入学者適用

【パッケージ案内】

①概要	<p>本プログラムは、歴史学を核として、様々な地域の文化的特性を歴史的に学ぶプログラムです。ここでは日本史・アジア史・西洋史に主眼を置きつつ、相互の交流や比較という視点から学習を進めることができます。また、歴史学のみならず、考古学・地理学・民俗学・文学・思想など関連する分野についても学び、総合的な地域理解を目指しています。これらを通じて、世界のさまざまな地域の歴史的文化的背景を理解し、過去と現代社会と対照させながら未来を洞察する能力を養うことを目標にします。</p>
②求める人材像	<p>しっかりとした基礎学力と旺盛な学習意欲を持つ学生を求めます。豊かな感性と強い関心を持って、学習に取り組む学生を求めます。</p>
③学修を進めて行く上で、身につけることが望ましい基礎的な能力	<p>履修に関して、必要な具体的科目等は設定しませんが、以下の様な学修課程を念頭に置いてください。</p> <p>まず、自らのテーマを主体的に設定し、設定したテーマについて基本的な知識を体系的に整理し、理解することが必要になります。つぎに、自らの設定したテーマを論じるために適切な資料を集め、それを分析することが求められます。さらにそのテーマについて論理的に議論を行い、文章化する思考力を養うことを目指します。</p>
④定員の目安	5名
その他留意事項	<p>履修にあたっては、各授業科目のシラバスの履修条件を十分に確認してください。</p> <p>（令和元年度（2019年度）以前入学者まで選択可）</p>

4 歴史文化学 領域学修科目パッケージ 【令和元年度以前入学者適用】

【パッケージ科目リスト】

- ・開講番号・授業担当者・ターム・曜日・時限は、令和8年度の開講状況です。
(2026.2.24現在の科目開設計画に基づき掲載しています。)
- ・掲載している開講番号・授業担当者(代表教員)・ターム・曜日時限は変更される場合があります。
変更後の内容及び教室は、Webシラバスにより確認してください。

	開講番号	科目名	授業担当者	単位	ターム	曜限	備考	
領域 基 礎 科 目 (歴 史 文 化 学)	260H1004	社会文化学入門B	片桐 昭彦	2	第3,4ターム	火5	歴史文化学入門との重複履修不可	
	260H2033	史学概説	広川 佐保・他	2	第1,2ターム	水2	2年生以上	
	261H2034	日本史概説	中村 元	2	第1ターム	火2,金2	2年生以上、日本史概説A~Dとの重複履修不可	
	263H2037	アジア史概説	山内 民博	2	第3ターム	月3,木3	2年生以上、アジア史概説A・Bとの重複履修不可	
	261H2038	西洋史概説	高橋 康浩	2	第1ターム	火3,火4	2年生以上、西洋史概説A・Bとの重複履修不可	
	260H2035	古文書学概説A	片桐 昭彦	2	第1,2ターム	火5	2年生以上	
	260H2036	古文書学概説B	原 直史	2	第3,4ターム	火5	2年生以上	
	260H2091	西洋歴史文化研究法A	高橋 秀樹	2	第1,2ターム	金5	2年生以上	
	260H2092	西洋歴史文化研究法B	高橋 秀樹	2	第3,4ターム	金5	2年生以上	
	260H2089	アジア史実習A	山内 民博・他	1	第1,2ターム	火2	2年生以上、隔年開講	
	260H2090	アジア史実習B	広川 佐保	1	第3,4ターム	木2	2年生以上、隔年開講	
		休講	アジア史実習C		1			2年生以上、隔年開講
		休講	アジア史実習D		1			2年生以上、隔年開講
	261H2025	考古学概説	白石 典之	2	第1ターム	月4,木4	2年生以上、考古学概説Bとの重複履修不可	
	260H1003	社会文化学入門A	松井 克浩・他	2	第3,4ターム	木5		
	260H2028	民俗学概説	山田 祐紀	2	第1,2ターム	木2	2年生以上、民俗学概説A, Bとの重複履修不可	
	260H2009	西洋哲学史概説	阿部 ふく子	2	第3,4ターム	水3	2年生以上、西洋哲学史概説A, Bとの重複履修不可、隔年開講	
		休講	歴史学A		2			
		休講	歴史学E		2			
		休講	歴史学G		2			
	263G7524	歴史学H	吉田 章人	2	第3ターム	月2,木2		
	261G7055	歴史学I	川西 裕也	2	第1ターム	火3,火4		
		休講	歴史学K		2			
		休講	歴史学O		2			
	263G7525	歴史学P	片桐 昭彦	2	第3ターム	火2,金2		
	262G7056	歴史学Q	山内 民博	2	第2ターム	月1,月2		
		休講	歴史学V		2			
	262H2029	芸能論概説	中本 真人	2	第2ターム	月3,月4	2年生以上、芸能論概説A, Bとの重複履修不可	
領域 科 目 (歴 史 文 化 学)	260H3011	歴史文化学基礎演習	中村 元	2	第3,4ターム	水2	2年生以上、歴史文化学基礎演習A・Bとの重複履修不可	
		休講	環東アジア社会論	2			3年生以上、隔年開講	
		休講	中国社会論	2			3年生以上、隔年開講	
		休講	朝鮮社会論	2			3年生以上、隔年開講	
	260H4041	アジア歴史文化論A	赤坂 恒明	2	集中	集中	3年生以上、隔年開講	
	261H4042	アジア歴史文化論B	山内 民博	2	第1ターム	月3,月4	3年生以上、隔年開講	
		休講	東アジア文化圏論	2				
	262H4043	アジア歴史文化論C	村上 正和	2	第2ターム	月3,月4	3年生以上、隔年開講、重複履修不可	
		休講	西洋地域史A	2			3年生以上、隔年開講	
	260H4044	西洋地域史B	森田 直子	2	集中	集中	3年生以上、隔年開講	
		休講	西洋社会史A	2			3年生以上、隔年開講	
	263H4045	西洋社会史B	高橋 康浩	2	第3ターム	火3,火4	3年生以上、隔年開講	
		休講	西洋文化史A	2			3年生以上、隔年開講	
	261H4045	西洋文化史B	細田 あや子	2	第1ターム	火3,火4	3年生以上、隔年開講	
	263H4012	宗教思想史A	青柳 かおる	2	第3ターム	火3,火4	3年生以上、隔年開講	
		休講	宗教思想史B	2			3年生以上、隔年開講	
	260H4037	日本国家史A	中林 隆之	2	集中	集中	3年生以上、日本古代中世史A・Bとの重複履修不可	
263H4038	日本国家史B	中村 元	2	第3ターム	金3,金4	3年生以上、日本近世近代史C・Dとの重複履修不可		
	休講	日本社会史A	2			3年生以上		
264H4039	日本社会史B	原 直史	2	第4ターム	火2,金2	3年生以上、日本近世近代史A・Bとの重複履修不可		
260H4040	日本地域史A	片桐 昭彦	2	第1,2ターム	金4	3年生以上、日本古代中世史C・Dとの重複履修不可		
	休講	日本地域史B	2			3年生以上		

5 法学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ案内】

①概要	<p>デジタル化やグローバル化、あるいは少子高齢化の進展とともに、変革が進む日本の社会にあって、ますます公正・公平で透明なルールによって社会を規律する必要性が生じます。そのため、各種の制度設計や制度改変が行われるにあたっては、憲法やさまざまな法律により保障される権利の調整や、適正な手続といった法的な見方・考え方が絶えず必要となります。また、いたるところで多様な紛争、社会問題が発生しています。その処理、解決、予防を任務とする法律、法律学の機能と課題を、公法、民事法、刑事法及びその他の法律学分野の全般にわたる授業の履修を通じて理解します。</p>
②求める人材像	<p>自分の可能性を発見し、才能を開花させ、よりよい社会の実現に貢献しようとし、そのための努力を惜しまない、元気と意欲のある学生</p>
③学修を進めて行く上で、身につけることが望ましい基礎的な能力	<p>以下の2科目は、法学を専門的に学ぶための導入的な科目として位置付けられているので、2年次に履修してください。</p> <p>「人文社会科学入門（法学）」、「リーガル・システム」</p>
④定員の目安	<p>18名</p>
その他留意事項	<p>なし</p>

5 法学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ科目リスト】

- ・開講番号・授業担当者・ターム・曜日・時限は、令和8年度の開講状況です。
(2026.2.24現在の科目開設計画に基づき掲載しています。)
- ・掲載している開講番号・授業担当者(代表教員)・ターム・曜日時限は変更される場合があります。
変更後の内容及び教室は、Webシラバスにより確認してください。

	開講番号	科目名	授業担当者	単位	ターム	曜限	備考
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32	261G7066	人文社会科学入門(法学)	喜友名 菜織・他	2	第1ターム	水3, 水4	平成30年度以降入学生対象
	262G7065	リーガル・システム	宮森 征司・他	2	第2ターム	月4, 木4	平成30年度以降入学生対象
	261L3003	憲法Ⅲ(憲法総論・人権総論)	盛永 悠太	2	第1ターム	月1, 月2	(法学部対象学年: 2年生以上)
	262L3001	憲法Ⅰ(人権各論)	上村 都	2	第2ターム	水1, 水2	
	260L3002	憲法Ⅱ(統治機構論)	栗田 佳泰	2	集中	集中	(法学部対象学年: 2年生以上)
	263L3101	民法Ⅰ(民法総則)	上山 泰	2	第3ターム	水3, 水4	
	262L3102	民法Ⅱ(不法行為)	岩寄 勝成	2	第2ターム	月1, 月2	
	263L3103	民法Ⅲ(物権Ⅰ)	岩寄 勝成	2	第3ターム	木1, 木2	
	261L3104	民法Ⅳ(債権総論Ⅰ)	林 滉起	2	第1ターム	水1, 水2	(法学部対象学年: 2年生以上)
	262L3105	民法Ⅴ(債権総論Ⅱ)	田中 幸弘	2	第2ターム	金1, 金2	(法学部対象学年: 2年生以上)
	264L3106	民法Ⅵ(債権各論)	上山 泰	2	第4ターム	金3, 金4	(法学部対象学年: 2年生以上)
	264L3107	民法Ⅶ(物権Ⅱ)	田中 幸弘	2	第4ターム	月1, 月2	(法学部対象学年: 2年生以上)
	261L3108	民法Ⅷ(親族)	喜友名 菜織	2	第1ターム	金3, 金4	(法学部対象学年: 2年生以上)
	263L3109	民法Ⅸ(相続)	喜友名 菜織	2	第3ターム	金3, 金4	(法学部対象学年: 2年生以上)
	262L3201	刑法Ⅰ(刑法総論Ⅰ)	根津 洸希	2	第2ターム	火1, 火2	
	263L3202	刑法Ⅱ(刑法総論Ⅱ)	根津 洸希	2	第3ターム	月1, 月2	(法学部対象学年: 2年生以上)
	261L3203	刑法Ⅲ(刑法各論)	久保 英二郎	2	第3ターム	※	(法学部対象学年: 2年生以上)
	264L3204	特殊講義(刑法各論発展)	久保 英二郎	2	第4ターム	※	(法学部対象学年: 2年生以上)
	261L3601	政治学Ⅰ	益田 高成	2	第1ターム	月5, 木5	政治学Ⅲ(政治学原論基礎)との重複履修不可
	262L3602	政治学Ⅱ(政治過程論)	益田 高成	2	第2ターム	月5, 木5	
	264L3114	会社法Ⅰ(総論・機関)	酒巻 雄司	2	第4ターム	月3, 月4	(法学部対象学年: 2年生以上)
	261L3115	会社法Ⅱ	酒巻 雄司	2	第1ターム	木1, 木2	(法学部対象学年: 3年生以上)
	262L3116	会社法Ⅲ	酒巻 雄司	2	第2ターム	木1, 木2	(法学部対象学年: 3年生以上)
	261L3111	民事訴訟法Ⅰ(総論)	篠原 淳一	2	第1ターム	金1, 金2	(法学部対象学年: 3年生以上)
	263L3112	民事訴訟法Ⅱ(各論)	篠原 淳一	2	第3ターム	金1, 金2	(法学部対象学年: 3年生以上)
	262L3205	刑事訴訟法Ⅰ(刑事手続総説・捜査法)	稲田 隆司	2	第2ターム	金3, 金4	(法学部対象学年: 3年生以上)
	264L3206	刑事訴訟法Ⅱ(公訴・公判・証拠法)	稲田 隆司	2	第4ターム	水3, 水4	(法学部対象学年: 3年生以上)
	263L3005	行政法Ⅰ(行政法総論)	今本 啓介	2	第3ターム	火1, 火2	(法学部対象学年: 2年生以上)
	264L3006	行政法Ⅱ(行政争訟法)	今本 啓介	2	第4ターム	火1, 火2	(法学部対象学年: 2年生以上)
	261L3007	行政法Ⅲ(行政手続法・行政組織法)	宮森 征司	2	第1ターム	水3, 水4	(法学部対象学年: 3年生以上)
	262L3702	行政学Ⅰ	馬場 健	2	第2ターム	木3, 木4	(法学部対象学年: 2年生以上)
	263L3703	行政学Ⅱ	馬場 健	2	第3ターム	水1, 水2	(法学部対象学年: 2年生以上)
33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49	261L3612	政策科学概論	教員未定	2	未定	未定	(法学部対象学年: 2年生以上)
	261L3010	租税法	今本 啓介	2	第1ターム	木3, 木4	(法学部対象学年: 3年生以上)
	262L3306	労働法Ⅰ(個別的労働法)	木南 直之	2	第2ターム	金1, 金2	(法学部対象学年: 3年生以上)
	264L3307	労働法Ⅱ(団体的労働法)	木南 直之	2	第4ターム	金1, 金2	(法学部対象学年: 3年生以上)
	263L3303	社会保障法Ⅰ(医療保障法)	田中 伸至	2	第3ターム	木1, 木2	(法学部対象学年: 3年生以上)
	264L3304	社会保障法Ⅱ(総論・所得保障法)	田中 伸至	2	第4ターム	木1, 木2	(法学部対象学年: 3年生以上)
	263L3305	社会福祉法制	田中 伸至	2	第3ターム	木3, 木4	(法学部対象学年: 3年生以上)
	261L3402	情報法Ⅰ(法情報学)	鈴木 正朝	2	第1ターム	月1, 月2	(法学部対象学年: 3年生以上)
	264L3403	情報法Ⅱ(情報法)	鈴木 正朝	2	第4ターム	月1, 月2	(法学部対象学年: 3年生以上)
	260L3301	経済法Ⅰ(競争の実質的制限禁止)	野口 宗一郎	2	集中	集中	(法学部対象学年: 3年生以上)
	260L3302	経済法Ⅱ(公正競争阻害規制)	野口 宗一郎	2	集中	集中	(法学部対象学年: 3年生以上)
	263L3308	国際法	渡辺 豊	2	第3ターム	木1, 木2	(法学部対象学年: 2年生以上)
	262L3309	国際人権法	渡辺 豊	2	第2ターム	水1, 水2	隔年開講
	休講	国際組織法		2			(法学部対象学年: 3年生以上)
	262L3502	法社会学	田巻 帝子	2	第2ターム	木1, 木2	(法学部対象学年: 2年生以上)
	262L3404	情報セキュリティと法Ⅰ(情報セキュリティ)	須川 賢洋	2	第2ターム	水3, 水4	(法学部対象学年: 3年生以上)
	263L3405	情報セキュリティと法Ⅱ(IT社会制度)	須川 賢洋	2	第3ターム	水3, 水4	(法学部対象学年: 3年生以上)

【注意事項】

※は、曜限によらない授業科目(オンデマンド型)を意味する。

6 経済学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ案内】

①概要	<p>人類は、生誕と共に、生産と消費を中心とする経済活動をつづけてきました。人間生活の物的基礎をなすこの経済活動は、この間、単に高度化してきただけではありません。その社会的あり方は、量的な変化を伴いながら構造的に、また国や地域ごとに個性を持って段階的に発展してきました。</p> <p>領域学修科目パッケージ「経済学」では、このような経済について、その理論・歴史・政策・現状を体系的に学んでいきます。</p>
②求める人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会の多様な問題に強い関心を持っている人 ・ 経済学の基礎的な専門知識を身につけたいと考えている人 ・ 地域社会や国際社会で活躍する意欲を持っている人
③学修を進めて行く上で、身につけることが望ましい基礎的な能力	<p>2年次までに以下の科目を履修することが望ましいです。</p> <p>「経済学入門」、「入門ミクロ経済学」、「入門マクロ経済学」、「経営学入門」</p>
④定員の目安	<p>14名</p>
その他留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指数関数や対数関数などの基本的な関数についての知識や微分積分の知識が充分でない学生は、別途、数学を学ぶ必要があります。 ・ 領域基礎科目に掲載されている科目であっても、他の特定の基礎科目を履修済みであることといった条件などが付されている場合があるので、各科目のシラバスに記載されている「登録のための条件（注意）」をよく読んでから履修登録をしてください。 ・ 令和7年度以降の入学者が「経済学入門」または「経営学入門」を履修した場合、いずれかの科目を「領域概説A（経済科学）」を履修したとみなします。

6 経済学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ科目リスト】

- ・開講番号・授業担当者・ターム・曜日・時限は、令和8年度の開講状況です。(2026.2.24現在の科目開設計画に基づき掲載しています。)
 - ・掲載している開講番号・授業担当者(代表教員)・ターム・曜日時限は変更される場合があります。
- 変更後の内容及び教室は、Webシラバスにより確認してください。

	開講番号	科目名	授業担当者	単位	ターム	曜限	備考	
領域基礎科目 (経済学)	261E6001	経済学入門	中田 豪・他	2	第1ターム	月3, 木3	令和7年度以降入学者は対象外(注)	
	261E6002	経営学入門	有元 知史・他	2	第1ターム	※	令和7年度以降入学者は対象外(注)	
	261E6006	入門ミクロ経済学	安達 裕之	2	第1ターム	火5, 金5		
	263E6007	入門マクロ経済学	長谷川 雪子	2	第3ターム	火2, 金2	重複履修不可	
		休講	入門マクロ経済学		2			
		260E6044	入門社会経済学	藤田 憲	2	第1,2ターム	※	
		263E6045	ミクロ経済学Ⅰ	山崎 剛志	2	第3ターム	火3, 金3	
		261E6053	ミクロ経済学Ⅱ	山崎 剛志	2	第1ターム	火3, 金3	
		263E6046	マクロ経済学Ⅰ	長谷川 雪子	2	第3ターム	火5, 金5	
		264E6054	マクロ経済学Ⅱ	長谷川 雪子	2	第4ターム	火4, 金4	
		261E6004	日本経済入門	武藤 秀太郎	2	第1ターム	火4, 金4	
		261E6206	日本経済史	武藤 秀太郎	2	第1ターム	火3, 金3	
			休講	世界経済史	2			世界経済史Ⅰとの重複履修不可
		263E6207	世界経済史Ⅱ	教員未定	2	第3ターム	木1, 木2	開講曜限変更の可能性あり
		263E6208	社会思想史	武藤 秀太郎	2	第3ターム	火3, 金3	経済学Ⅰとの重複履修不可
		261E6217	行財政入門	穴戸 邦久	2	第1ターム	※	
		262E6043	経済数学Ⅰ	高宮 浩司	2	第2ターム	月3, 木3	経済数学との重複履修不可
		263E6051	経済数学Ⅱ	高宮 浩司	2	第3ターム	月3, 木3	
		261E6008	統計入門	張 俊超	2	第1ターム	火4, 金4	
		261E6059	金融論Ⅰ	中村 篤志	2	第1ターム	月2, 木2	
		263E6060	金融論Ⅱ	中村 篤志	2	第3ターム	月2, 木2	
		261E6066	財政学Ⅰ	根岸 睦人	2	第1ターム	月2, 木2	
		262E6067	財政学Ⅱ	根岸 睦人	2	第2ターム	月2, 木2	
		262E6218	公共経済学Ⅰ	中東 雅樹	2	第2ターム	※	公共経済学Ⅰとの重複履修不可
		263E6219	公共経済学Ⅱ	中東 雅樹	2	第3ターム	※	公共経済学Ⅱとの重複履修不可
		263E6070	国際貿易論	安達 裕之	2	第3ターム	火2, 金2	
		262E6057	環境経済システム論Ⅰ	藤堂 史明	2	第2ターム	月5, 木5	
		262E6047	計量経済学Ⅰ	伊藤 伸幸	2	第2ターム	火3, 金3	
			休講	計量経済学Ⅱ	2			
		261E6100	労働経済学Ⅰ	張 俊超	2	第1ターム	月2, 木2	特殊講義(労働経済学Ⅰ)との重複履修不可
	263E6167	社会科学方法論	曾 國哲	2	第2ターム	火2, 金2	特殊講義(社会科学方法論)との重複履修不可	
	261E6114	経営学概論Ⅰ	丸山 峻	2	第1ターム	※		
	263E6155	経営学概論Ⅱ	張 文婷	2	第3ターム	※		
	261E6115	特殊講義(簿記入門)	加井 久雄	2	第1ターム	※		
	262E6149	会計学概論Ⅰ	加井 久雄	2	第2ターム	※		
	263E6152	会計学概論Ⅱ	加井 久雄	2	第3ターム	火4, 金4		
領域科目 (経済学)		休講	市場と組織の理論	2				
	263E6064	開発途上国経済論	石川 耕三	2	第3ターム	火4, 金4		
	261E6050	アジア経済論Ⅰ	溝口 由己	2	第1ターム	火1, 金1		
		休講	アジア経済論Ⅱ	2				
	262E6063	ロシア経済論	道上 真有	2	第2ターム	月3, 木3		
		休講	比較経済体制論	2				
	260E6049	E U経済論	藤田 憲	2	第3,4ターム	水4		
	260E6062	経済学史	上宮 智之	2	集中	集中	経済学史Ⅱとの重複履修不可	
		休講	地方財政運用論	2			地方財政論Ⅰとの重複履修不可	
	263E6221	地方財政制度論	穴戸 邦久	2	第3ターム	※	地方財政論Ⅱとの重複履修不可	
		休講	NPO論	2				
		休講	文化経済学	2				
	261E6220	公共選択論	小川 顕正	2	第1ターム	火2, 金2		
	261E6055	組織の経済学Ⅰ	濱田 弘潤	2	第1ターム	月3, 木3		
	263E6056	組織の経済学Ⅱ	濱田 弘潤	2	第3ターム	火3, 金3		
	263E6153	経営情報論	高橋 美保	2	第3ターム	火2, 金2	経営情報システムⅠとの重複履修不可	
	262E6150	経営戦略論Ⅰ	伊藤 龍史	2	第2ターム	火4, 金4		
	263E6148	マーケティング論Ⅰ	石塚 千賀子	2	第3ターム	月3, 木3	マーケティング論との重複履修不可	
		休講	租税理論Ⅰ	2			租税理論との重複履修不可	
		休講	租税理論Ⅱ	2				
	261E6052	ゲーム理論	高宮 浩司	2	第1ターム	月3, 木3		
	264E6069	応用ミクロ経済学	安達 裕之	2	第4ターム	火3, 金3		
		休講	環境経済システム論Ⅱ	2				
	263E6101	労働経済学Ⅱ	張 俊超	2	第3ターム	月2, 木2	特殊講義(労働経済学Ⅱ)との重複履修不可	
	260E6048	アメリカ経済論Ⅰ	大森 拓磨	2	第3,4ターム	水5		
	260E6068	アメリカ経済論Ⅱ	大森 拓磨	2	第3,4ターム	金5		
	261E6061	国際マクロ経済学Ⅰ	中田 豪	2	第1ターム	月3, 木3		
	261E6099	国際マクロ経済学Ⅱ	中田 豪	2	第1ターム	月5, 木5		
	261E6065	国際開発論	石川 耕三	2	第1ターム	火4, 金4		
	261E6180	経済社会論基礎	教員未定	2	第1ターム	火2, 金2		
260E6012	特殊講義(野村証券寄附講義)	道上 真有	2	第3,4ターム	木4			
260E6214	特殊講義(新潟県の行財政)	穴戸 邦久	2	第3,4ターム	水3			

【注意事項】

- ・※は、曜限によらない授業科目(オンデマンド型)を意味する。
- ・令和7年度以降の入学者が「経済学入門」または「経営学入門」を履修した場合、いずれかの科目を「領域概説A(経済科学)」を履修したとみなす。

【参考】

経済(科)学部開設科目では、同一教員・同一曜限開講で、異なる開講番号(科目名が異なる場合もある)で開講されている科目があるが、創生学部生は、科目リスト記載の開講番号により履修登録を行うこと。

経済科学部・経済学部の開講番号(下4桁)について

・経済科学部(令和2年度新設学部)開講科目:6000番台(6***)

・経済学部(昼間コース)開講科目:1000番台(1***) ・経済学部(夜間主コース)開講科目:5000番台(5***)

7 経営学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ案内】

①概要	<p>このパッケージの特徴は、一般的な経営学の対象である企業経営に加えて公共経営も対象とし、それらを「組織マネジメント」として一体的にとらえ、組織マネジメント（企業経営・公共経営）とそれを支える基盤（会計・税務）とを体系的に関連付けていることにあります。</p> <p>本パッケージでは、企業や公的機関における効果的な組織運営と、これら組織の活動対象となる顧客や市民というヒトと組織のつながりを実践的に探求します。</p>
②求める人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会の多様な問題に強い関心を持っている人 ・ 経済学や経営学の確かな専門知識を身に付けたいと考えている人 ・ 地域社会や国際社会で活躍する意欲を持っている人
③学修を進めて行く上で、身につけることが望ましい基礎的な能力	<p>2年次までに以下の科目を履修することが望ましいです。「経済学入門」、「経営学入門」、「経営学概論Ⅰ・Ⅱ」、「会計学概論Ⅰ・Ⅱ」</p>
④定員の目安	<p>12名</p>
その他留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指数関数や対数関数などの基本的な関数についての知識や微分積分の知識が充分でない学生は、別途、数学を学ぶ必要があります。 ・ 領域基礎科目に掲載されている科目であっても、他の特定の基礎科目を履修済みであることといった条件などが付されている場合があるので、各科目のシラバスに記載されている「登録のための条件（注意）」をよく読んでから履修登録をしてください。 ・ 令和7年度以降の入学者が「経済学入門」または「経営学入門」を履修した場合、いずれかの科目を「領域概説A（経済科学）」を履修したとみなします。

7 経営学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ科目リスト】

- ・開講番号・授業担当者・ターム・曜日・時限は、令和8年度の開講状況です。(2026.2.24現在の科目開設計画に基づき掲載しています。)
 - ・掲載している開講番号・授業担当者(代表教員)・ターム・曜日時限は変更される場合があります。
- 変更後の内容及び教室は、Webシラバスにより確認してください。

	開講番号	科目名	授業担当者	単位	ターム	曜限	備考	
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	261E6002	経営学入門	有元 知史・他	2	第1ターム	※	令和7年度以降入学者は対象外(注)	
	261E6001	経済学入門	中田 豪・他	2	第1ターム	月3, 木3	令和7年度以降入学者は対象外(注)	
	261E6114	経営学概論Ⅰ	丸山 峻	2	第1ターム	※		
	263E6155	経営学概論Ⅱ	張 文婷	2	第3ターム	※		
	262E6149	会計学概論Ⅰ	加井 久雄	2	第2ターム	※		
	263E6152	会計学概論Ⅱ	加井 久雄	2	第3ターム	火4, 金4		
	262E6150	経営戦略論Ⅰ	伊藤 龍史	2	第2ターム	火4, 金4		
	261E6115	特殊講義(簿記入門)	加井 久雄	2	第1ターム	※		
		休講	企業分析入門		2			
	260E6154	財務会計論Ⅰ	藤田 健人	2	第1,2ターム	金3		
	261E6217	行財政入門	宍戸 邦久	2	第1ターム	※		
	261E6004	日本経済入門	武藤 秀太郎	2	第1ターム	火4, 金4		
	261E6006	入門ミクロ経済学	安達 裕之	2	第1ターム	火5, 金5		
	14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27	263E6007	入門マクロ経済学	長谷川 雪子	2	第3ターム	火2, 金2	重複履修不可
		休講	入門マクロ経済学	2				
262E6147		経営組織論Ⅰ	丸山 峻	2	第2ターム	火5, 金5		
260E6146		経済数学Ⅰ	高橋 美保	2	第3,4ターム	水5	経済数学との重複履修不可	
261E6151		人的資源管理論Ⅰ	岸 保行	2	第1ターム	月2, 木2	人的資源管理論との重複履修不可	
262E6218		公共経済学Ⅰ	中東 雅樹	2	第2ターム	※	公共経済論Ⅰとの重複履修不可	
261E6055		組織の経済学Ⅰ	濱田 弘潤	2	第1ターム	月3, 木3		
263E6153		経営情報論	高橋 美保	2	第3ターム	火2, 金2	経営情報システムⅠとの重複履修不可	
		休講	管理会計論Ⅰ	2				
264E6157		原価計算論	有元 知史	2	第4ターム	火1, 金1	原価計算論Ⅰとの重複履修不可	
		休講	租税理論Ⅰ	2			租税理論との重複履修不可	
263E6142		経営税務論Ⅰ	角田 享介	2	第3ターム	火2, 金2		
263E6148		マーケティング論Ⅰ	石塚 千賀子	2	第3ターム	月3, 木3	マーケティング論との重複履修不可	
263E6167		社会科学方法論	曾 國哲	2	第2ターム	火2, 金2	特殊講義(社会科学方法論)との重複履修不可	
28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48	263E6161	人的資源管理論Ⅱ	岸 保行	2	第3ターム	月2, 木2		
	260E6158	財務会計論Ⅱ	藤田 健人	2	第3,4ターム	金3		
	264E6164	国際会計論	加井 久雄	2	第4ターム	※		
	263E6221	地方財政制度論	宍戸 邦久	2	第3ターム	※	地方財政論Ⅱとの重複履修不可	
		休講	NPO論	2				
	263E6219	公共経済学Ⅱ	中東 雅樹	2	第3ターム	※	公共経済論Ⅱとの重複履修不可	
	263E6045	ミクロ経済学Ⅰ	山崎 剛志	2	第3ターム	火3, 金3		
	261E6053	ミクロ経済学Ⅱ	山崎 剛志	2	第1ターム	火3, 金3		
	263E6046	マクロ経済学Ⅰ	長谷川 雪子	2	第3ターム	火5, 金5		
	264E6054	マクロ経済学Ⅱ	長谷川 雪子	2	第4ターム	火4, 金4		
	263E6056	組織の経済学Ⅱ	濱田 弘潤	2	第3ターム	火3, 金3		
		休講	租税理論Ⅱ	2				
	261E6263	経営税務論Ⅱ	角田 享介	2	第1ターム	火3, 金3		
		休講	経営組織論Ⅱ	2				
264E6162	経営戦略論Ⅱ	伊藤 龍史	2	第4ターム	火4, 金4			
261E6163	管理会計論Ⅱ	有元 知史	2	第1ターム	※			
261E6008	統計入門	張 俊超	2	第1ターム	※			
	休講	マーケティング論Ⅱ	2					
261E6156	中小企業論	張 文婷	2	第1ターム	※			
260E6133	会計情報論	中村 竹志	2	第1,2ターム	※			
260E6214	特殊講義(新潟県の行財政)	宍戸 邦久	2	第3,4ターム	水3			

【注意事項】

- ・※は、曜限によらない授業科目(オンデマンド型)を意味する。
- ・令和7年度以降の入学者が「経済学入門」または「経営学入門」を履修した場合、いずれかの科目を「領域概説A(経済科学)」を履修したとみなす。

【参考】

経済(科)学部開設科目では、同一教員・同一曜限開講で、異なる開講番号(科目名が異なる場合もある)で開講されている科目があるが、創生学部生は、科目リスト記載の開講番号により履修登録を行うこと。

経済科学部・経済学部の開講番号(下4桁)について

- ・経済科学部(令和2年度新設学部)開講科目:6000番台(6***)
- ・経済学部(昼間コース)開講科目:1000番台(1***)
- ・経済学部(夜間主コース)開講科目:5000番台(5***)

8 数学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ案内】

①概要	<p>数学は古代に人類社会の発展のなかで生まれ、数千年の歴史の中で進化し深められ、精緻で壮大な知的体系を作り上げてきました。そしてその成果は多くの科学分野に応用されています。また近年のコンピュータの発展は、科学における数学・応用数学の位置を益々重要なものとしています。</p> <p>現在では数学的手法は理工系の学問だけでなく人文科学、社会科学でも必須のものです。数学を学ぶことによって身につけることのできる「秩序立てた論理的思考力と問題解決能力」は、社会から非常に高く評価されているだけでなく、最も求められている能力といえます。</p> <p>本パッケージで学ぶことにより数学の基礎的素養と、数学を実際に活用する態度を身につけることができます。</p>
②求める人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数理や自然の基本法則の探求に興味を持って取り組む人 ・ 数理や自然の基本法則の修得を基盤として秩序立てた論理的思考力と問題解決能力を成長させ、社会の諸問題に対処し貢献したいと考えている人
③学修を進めて行く上で、身につけることが望ましい基礎的な能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高等学校で学ぶ数学（「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」）を十分に理解してください。 ・ 数学は積み上げ教科なので、数学・学位プログラムの授業マップを参照して順番に履修することが望ましいです。 ・ 領域学修科目パッケージが開始される2年次初めには、1年次の基礎的な内容、具体的には「微分積分学ⅠA」「微分積分学ⅠB」「線形代数ⅠA」「線形代数ⅠB」「集合と写像」の内容を身につけていることが望ましいです。
④定員の目安	3名
その他留意事項	なし

8 数学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ科目リスト】

- ・開講番号・授業担当者・ターム・曜日・時限は、令和8年度の開講状況です。
(2026.2.24現在の科目開設計画に基づき掲載しています。)
- ・掲載している開講番号・授業担当者(代表教員)・ターム・曜日時限は変更される場合があります。
変更後の内容及び教室は、Webシラバスにより確認してください。

	開講番号	科目名	授業担当者	単位	ターム	曜限	備考
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26	263S0544	微分積分学ⅠA	橋詰 健太	1	第3ターム	金4	
	264S0548	微分積分学ⅠB	橋詰 健太	1	第4ターム	金4	
	263S0546	数学演習A	折田 龍馬	1	第3ターム	木2	
	264S0550	数学演習B	折田 龍馬	1	第4ターム	木2	
	263S0547	集合と写像	三浦 毅	1	第3ターム	月5	
	261S0552	微分積分学ⅡA	三浦 毅	2	第1ターム	火3, 金3	
	262S0555	微分積分学ⅡB	三浦 毅	2	第2ターム	火3, 金3	
	261S0553	線形代数ⅡA	星 明考	2	第1ターム	月2, 木3	
	262S0556	線形代数ⅡB	鈴木 有祐	2	第2ターム	月2, 木3	
	263S1501	解析学序論A	應和 宏樹	1	第3ターム	金3	
	264S1507	解析学序論B	應和 宏樹	1	第4ターム	金3	
	263S1502	代数・幾何学序論A	鈴木 有祐	1	第3ターム	月2	
	264S1508	代数・幾何学序論B	星 明考	1	第4ターム	月2	
	263S1505	代数入門A	小島 秀雄	2	第3ターム	月4, 火2	
	264S1511	代数入門B	小島 秀雄	2	第4ターム	月4, 火2	
	263S1504	微分方程式論A	應和 宏樹	1	第3ターム	火3	
	264S1510	微分方程式論B	應和 宏樹	1	第4ターム	火3	
	261S1519	数値解析A	土屋 卓也	1	第1ターム	水2	
	262S1529	数値解析B	土屋 卓也	1	第2ターム	水2	
	261S1514	複素解析学ⅠA	大井 志穂	1	第1ターム	金2	
	262S1524	複素解析学ⅠB	大井 志穂	1	第2ターム	金2	
	263S1567	離散数学A	鈴木 有祐	1	第3ターム	火2	
	264S1568	離散数学B	鈴木 有祐	1	第4ターム	火2	
	264S1547	オペレーションズ・リサーチ実習	山田 修司	1	第4ターム	火5, 金5	
	263S0545	線形代数ⅠA	鈴木 有祐	1	第3ターム	木1	
	264S0549	線形代数ⅠB	鈴木 有祐	1	第4ターム	木1	
27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44	261S1517	最適化数学A	田中 環	1	第1ターム	水3	
	262S1527	最適化数学B	田中 環	1	第2ターム	水3	
	休講	トポロジーA		1			
	休講	トポロジーB		1			
	263S1532	関数解析学A	渡邊 恵一	1	第3ターム	月2	
	264S1540	関数解析学B	渡邊 恵一	1	第4ターム	月2	
	261S1518	数理統計学ⅠA	原瀬 晋	1	第1ターム	水3	
	262S1528	数理統計学ⅠB	原瀬 晋	1	第2ターム	水3	
	263S1537	数理統計学ⅡA	原瀬 晋	1	第3ターム	火3	
	264S1545	数理統計学ⅡB	原瀬 晋	1	第4ターム	火3	
	261S1515	代数系ⅠA	小島 秀雄	1	第1ターム	月2	
	262S1525	代数系ⅠB	小島 秀雄	1	第2ターム	月2	
	263S1533	代数系ⅡA	星 明考	1	第3ターム	金3	
	264S1541	代数系ⅡB	星 明考	1	第4ターム	金3	
	263S1531	複素解析学ⅡA	三浦 毅	1	第3ターム	金2	
	264S1539	複素解析学ⅡB	三浦 毅	1	第4ターム	金2	
	休講	計算数理A		1			
	休講	計算数理B		1			

9 物理学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ案内】

<p>①概要</p>	<p>1965年にノーベル物理学賞を受賞した朝永振一郎博士は、物理学について「自然界に起こる現象の奥に潜む法則を観察事実には照らして探求するもの」と述べています。朝永博士の受賞から50年以上が経ち、自然界には存在しなかった新元素や新素材をも含む文字通り「すべてのもの」が、いまでは物理学の探求対象となっています。様々な分野の基礎となる物理学を学ぶことで、自然現象から社会現象まで深く緻密に観察し、理解する能力を身に付けることができます。</p> <p>そして、数学を用いて精密に体系化された物理学を系統的に学ぶことで、創生学部の学生に必要な論理的な思考能力と能動的な問題解決能力が身に付きます。</p>
<p>②求める人材像</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の仕組みの解明や基本法則の追求に興味を持って取り組む人 ・自然界の基本法則の修得を基盤として柔軟な思考力や能動的な問題解決能力を身につけ、社会の諸問題に対処したいと考える人 ・物理学の基本法則が数学を用いて表現されることに戸惑いを感じない人
<p>③学修を進めて行く上で、身につけることが望ましい基礎的な能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校の数学全般に関する基礎的な知識 (高等学校の「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学A」および「数学B」を履修済みか、それと同等の能力を有することが望ましいです。) ・高等学校の物理学全般に関する基礎的な知識 (高等学校の「物理基礎」と「物理」を履修済みか、それと同等の能力を有することが望ましいです。) ・数学(微分・積分の基礎)に関する能力 (自然系共通専門基礎科目の「数学基礎A1」と「数学基礎A2」を1年次に履修することを推奨します。) ・数学(ベクトル・行列の基礎)に関する能力 (自然系共通専門基礎科目の「数学基礎B1」と「数学基礎B2」を1年次に履修することを推奨します。) ・物理学(力学の基礎)に関する能力 (領域基礎科目(物理学)の「物理学基礎AⅠ」と「物理学基礎AⅡ」を、1年次もしくは2年次に履修することが望ましいです。また理学部専門科目の「基礎物理学演習A」と「基礎物理学演習B」の履修を推奨します。) ・領域基礎科目(物理学)に含まれる科目の事前学修 (「基礎物理数学」と「基礎ベクトル解析」は物理学のすべての科目の基礎となるため、もし可能であれば1年次に履修することを推奨します。)
<p>④定員の目安</p>	<p>5名</p>
<p>その他留意事項</p>	<p>なし</p>

9 物理学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ科目リスト】

- ・開講番号・授業担当者・ターム・曜日・時限は、令和8年度の開講状況です。
(2026.2.24現在の科目開設計画に基づき掲載しています。)
- ・掲載している開講番号・授業担当者(代表教員)・ターム・曜日時限は変更される場合があります。
変更後の内容及び教室は、Webシラバスにより確認してください。

	開講番号	科目名	授業担当者	単位	ターム	曜限	備考	
1	261G5017	物理学基礎 A I	大野 義章	2	第1ターム	木1, 木2	2単位のみ認定	
2	260G5016	物理学基礎 A I	浅賀 岳彦	2	第1,2ターム	月5		
3	260G5512	物理学基礎 A II	大久保 毅	2	第3,4ターム	水3		
4	263S0559	基礎物理数学	中野 博章	2	第3ターム	火2, 金2		
5	264S0560	基礎ベクトル解析	石川 文洋	2	第4ターム	火2, 金2		
6	260S0558	解析力学	西 亮一	2	第3,4ターム	金4		
7	261S2507	電磁気学 I A	西 亮一	1	第1ターム	月4		
8	262S2508	電磁気学 I B	西 亮一	1	第2ターム	月4		
9	263S2509	電磁気学 II A	大村 彩子	1	第3ターム	月5		
10	264S2510	電磁気学 II B	大村 彩子	1	第4ターム	月5		
11	262S2520	熱力学 A	撰待 力生	1	第2ターム	火2		
12	262S2521	熱力学 B	撰待 力生	1	第2ターム	金2		
13	261S2532	量子力学 I A	江尻 信司	2	第1ターム	月5, 木2		
14	262S2533	量子力学 I B	江尻 信司	2	第2ターム	月5, 木2		
15	263S2534	量子力学 II A	浅賀 岳彦	2	第3ターム	火2, 木2		
16	264S2535	量子力学 II B	浅賀 岳彦	2	第4ターム	火2, 木2		
17	261S2538	統計力学 I A	吉森 明	2	第1ターム	月3, 水2		
18	262S2539	統計力学 I B	吉森 明	2	第2ターム	月3, 水2		
19	263S2540	統計力学 II A	大野 義章	2	第3ターム	月1, 月2		
20	264S2541	統計力学 II B	大野 義章	2	第4ターム	月1, 月2		
21	261S2530	特殊相対論 A	中野 博章	1	第1ターム	金2		
22	262S2531	特殊相対論 B	中野 博章	1	第2ターム	金2		
23	休講	計算物理学 A		2				
24	260S2547	計算物理学 B	野垣 康介	2	第3,4ターム	火3		
25	261S2522	物理学実験 A	根本 祐一・他	2	第1ターム	水3, 水4, 木3, 木4		
26	262S2523	物理学実験 B	根本 祐一・他	2	第2ターム	水3, 水4, 木3, 木4		
27	263S2524	物理学実験 C	根本 祐一・他	2	第3ターム	水3, 水4, 木3, 木4		
28	休講	物理学実験 D		2				
29	261S2526	電気力学 A	西 亮一	1	第1ターム	金4		
30	262S2527	電気力学 B	西 亮一	1	第2ターム	金4		
31	休講	エレクトロニクス A		1				
32	休講	エレクトロニクス B		1				
33	260S2549	原子核物理学	本郷 優・他	2	第1,2ターム	水2		
34	260S2550	物性物理学	石川 文洋・他	2	第1,2ターム	火2		
35	260S2551	素粒子物理学	浅賀 岳彦・他	2	第1,2ターム	月4		
36	260S2548	宇宙物理学	西 亮一	2	第1,2ターム	金2		
37	261S2544	一般相対論 A	渡辺 一也	1	第1ターム	水3		
38	262S2545	一般相対論 B	渡辺 一也	1	第2ターム	水3		

10 化学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ案内】

①概要	<p>近年の科学技術の急速な発展に伴う社会の要請に応えるため、化学とそれに関連した自然科学の諸分野に強い興味を持ち、化学の基本的な知識を根底にした幅広い理解力と応用力を身に付けた柔軟かつ独創性のある人材を育成しています。</p> <p>専門科目は化学の基幹分野である分析化学、無機化学、有機化学、物理化学、量子化学に加えて、境界領域である生物科学分野および物性科学分野の内容もカバーしています。</p> <p>また、持続可能な社会の実現を目指した環境調和型化学（グリーン・サステイナブルケミストリー）の教育・研究にも力を入れています。</p>
②求める人材像	<p>理学における化学は、基本原理に基づいて自然界に潜む普遍的真理を探究します。このような理学的思考を身につけることは、21世紀の科学技術の発展に貢献するために大変重要です。</p> <p>化学パッケージでは、化学に興味をもち、化学の基本原理の理解に意欲的に取り組む人、化学の基礎知識を持ち研究や技術応用にも関心のある人、ならびに理学的基盤から社会で活躍する意欲のある人を求めます。</p>
③学修を進めて行く上で、身につけることが望ましい基礎的な能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高等学校の数学全般に関する基礎的な知識 (高等学校の「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学A」および「数学B」を履修済みか、それと同等の能力を有することが望ましいです。) ・ 高等学校の理科に関する基礎的な知識 (高等学校「化学」を含み、「物理」あるいは「生物」のいずれかの2科目を履修済みか、それと同等の能力を有することが望ましいです。) ・ 理学に関する能力 (理学科の他のプログラムが開講する数学や物理、生物などの「自然系共通専門基礎科目」を合わせて履修することが望ましいです。) ・ 化学に関する能力 (1年次に「化学基礎A」および「化学基礎B」を履修することが望ましいです。) ・ 化学実験に関する能力 (1年次に「化学基礎実習 a、b」を履修することが望ましいです。)
④定員の目安	3名
その他留意事項	なし

10 化学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ科目リスト】

- ・開講番号・授業担当者・ターム・曜日・時限は、令和8年度の開講状況です。
(2026.2.24現在の科目開設計画に基づき掲載しています。)
- ・掲載している開講番号・授業担当者(代表教員)・ターム・曜日時限は変更される場合があります。
変更後の内容及び教室は、Webシラバスにより確認してください。

	開講番号	科目名	授業担当者	単位	ターム	曜限	備考	
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19	262G5027	化学基礎A	生駒 忠昭	2	第2ターム	火3, 金3	2単位のみ認定	
	263G5518	化学基礎A	丸山 健二	2	第3ターム	火4, 金4		
	262G5029	化学基礎B	大鳥 範和	2	第2ターム	月4, 木4	2単位のみ認定	
	264G5519	化学基礎B	梅林 泰宏	2	第4ターム	火4, 金4		
		休講	化学基礎実習a		1			1単位のみ認定
	263S0520	化学基礎実習a	岩本 啓・他	1	第3ターム	月3, 月4		
	264S0521	化学基礎実習b	岩本 啓・他	1	第4ターム	月3, 月4	グリーンケミストリー入門との重複履修不可	
	263G6521	化学とSDGs	梅林 泰宏・他	2	第3ターム	月4, 木4		
	260S0539	SDGsを支える化学	田山 英治・他	1	集中	集中	グリーンケミストリー概説との重複履修不可	
	263S3530	化学コロキウム	田山 英治・他	1	第3ターム	集中	3年生以上	
	260S3529	化学英語	丸山 健二・他	2	第3,4ターム	水3	3年生以上	
	263G6518	社会を支える有機化学	俣野 善博	2	第3ターム	火3, 金3		
	264S0561	分析化学Ⅰ	梅林 泰宏	2	第4ターム	月1, 木1		
	263S3562	分析化学Ⅱ	佐藤 敬一	2	第3ターム	火1, 金1		
	263S0562	無機化学Ⅰ	梅林 泰宏	2	第3ターム	月1, 木1		
	264S0563	有機化学Ⅰ	俣野 善博	2	第4ターム	月2, 木2		
	263S0564	化学熱力学	大鳥 範和	2	第3ターム	月5, 木5		
	260S0565	生体分子化学Ⅰ	中馬 吉郎	2	第1,2ターム	水1	2年生以上	
	261S3527	基礎機器分析	梅林 泰宏	2	第1ターム	月2, 木2		
20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32	264S3525	生体分子化学Ⅱ	中馬 吉郎	2	第4ターム	火2, 金2	2年生以上	
	261S3503	化学統計学Ⅰ	大鳥 範和	2	第1ターム	月5, 木5		
	261S3524	化学統計学Ⅱ	丸山 健二	2	第1ターム	火1, 金1		
	262S0582	基礎量子力学	副島 浩一	2	第2ターム	月1, 木1	量子化学Ⅰとの重複履修不可	
	261S3501	無機化学Ⅱ	後藤 真一	2	第1ターム	火2, 金2		
	261S3502	有機化学Ⅱ	俣野 善博	2	第1ターム	月1, 木1		
	260S3520	有機化学Ⅲ	田山 英治	2	第3,4ターム	水1		
	261S3521	有機化学Ⅳ	岩本 啓	2	第1ターム	火2, 金2		
	264S3505	分析化学実験	韓 智海・他	2	第4ターム	水3, 水4, 木3, 木4		
	263S3506	無機化学実験	後藤 真一	2	第3ターム	水3, 水4, 木3, 木4		
	260S3508	物理化学実験	三浦 智明	2	第1,2ターム	水3, 水4	3年生以上	
	260S3509	生化学実験	中馬 吉郎	2	第1,2ターム	木3, 木4	3年生以上	
	260S3507	有機化学実験	田山 英治	2	第1,2ターム	火3, 火4	3年生以上	

11 生物学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ案内】

①概要	<p>本パッケージでは、これまでに蓄積されてきた生物学の知見や技術的背景を確実に学習するとともに、現代生物学の成果とその応用のあり方について探究し、持続可能な社会の構築に貢献できる人材の育成を目標とします。具体的には、次の様な知識の習得と理解をめざします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細胞とは何か、どのようにして機能が維持されるか ・遺伝子の機能と遺伝のしくみ、生命現象を支える生体分子の特徴 ・個体がどのようにできあがっていくか、生物がどのようにして進化し、多様な生物種ができたか ・動物および植物の構造と機能 ・生物はどのように環境に応答しながら恒常性を維持するのか
②求める人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・生物学への関心が高く、その知識の習得に意欲的に取り組むことができる人 ・自ら課題を発見し、その解明に意欲的に取り組むことができる人 ・日常生活における生物学の関連情報に関心を持ち、その意義について客観的かつ理性的に考察できる人 ・生命の尊厳を考え、様々な生物と向き合える人 ・生物学以外の理科学科や数学、外国語の学修についても関心がある人
③学修を進めて行く上で、身につけることが望ましい基礎的な能力	<ul style="list-style-type: none"> ・生物および化学の基礎知識 (高等学校の「生物基礎」「生物」および「化学基礎」「化学」を履修済みか、それと同等の能力を有することが望ましいです。) ・数学の基礎知識 (高等学校の「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」「数学B」を履修済みか、それと同等の能力を有することが望ましいです。) ・細胞の構造、遺伝子の機能に関する基礎知識 (自然系共通専門基礎科目の「生物学基礎A」、「生物学基礎B」を1年次に履修しておくことを推奨します。)
④定員の目安	3名
その他留意事項	なし

11 生物学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ科目リスト】

- ・開講番号・授業担当者・ターム・曜日・時限は、令和8年度の開講状況です。
(2026.2.24現在の科目開設計画に基づき掲載しています。)
- ・掲載している開講番号・授業担当者(代表教員)・ターム・曜日時限は変更される場合があります。
変更後の内容及び教室は、Webシラバスにより確認してください。

	開講番号	科目名	授業担当者	単位	ターム	曜限	備考
1	261G5031	生物学基礎A	加藤 朗	2	第1ターム	水4, 水5	2単位のみ認定
2	262G5033	生物学基礎A	林 八寿子	2	第2ターム	火2, 金2	
3	260G5030	生物学基礎A	田崎 英祐	2	第1, 2ターム	集中	
4	263G5520	生物学基礎A	西川 周一	2	第3ターム	火2, 金2	
5	261G5032	生物学基礎A	宮崎 勝己	2	第1ターム	火3, 金3	
6	262G5035	生物学基礎B	墨谷 暢子	2	第2ターム	月3, 木3	2単位のみ認定
7	261G5034	生物学基礎B	杉本 健吉	2	第1ターム	月2, 木2	
8	263G5522	生物学基礎B	長束 俊治	2	第3ターム	月2, 木2	
9	260G5521	生物学基礎B	藤間 真紀	2	第3, 4ターム	水5	
10	263G6512	生物学－動物A－	井筒 ゆみ	2	第3ターム	金3, 金4	基礎植物学との重複履修不可
11	262G6014	生物学－植物A－	酒井 達也	2	第2ターム	月1, 木1	
12	264G6511	生物学－生物多様性A－	藤村 衡至	2	第4ターム	月3, 木3	
13	261S0525	生物学基礎実習a	藤間 真紀	1	第1ターム	水3, 水4	理学部優先、1単位のみ認定
14	263S0523	生物学基礎実習a	藤間 真紀	1	第3ターム	木3, 木4	
15	264S0524	生物学基礎実習b	墨谷 暢子	1	第4ターム	木3, 木4	理学部優先
16	263S0566	基礎細胞遺伝学	墨谷 暢子	2	第3ターム	月4, 月5	生物化学I(理)との重複履修不可 生物英語Iとの重複履修不可
17	264S0567	基礎細胞生物学	加藤 朗	2	第4ターム	火2, 金2	
18	261S0568	基礎植物学	酒井 達也	2	第1ターム	火2, 金2	
19	261S0570	基礎生物化学	長束 俊治	2	第1ターム	月3, 木3	
20	264S4544	植物生理学	西川 周一	2	第4ターム	火2, 金2	
21	262S4502	動物生理学I	井筒 ゆみ	2	第2ターム	火2, 金2	
22	263S4505	発生生物学I	酒井 達也	2	第3ターム	火1, 金1	
23	262S4547	生物化学(理)	長束 俊治	2	第2ターム	火2, 金2	
24	264S4546	生物英語	伊東 孝祐	2	第4ターム	水1, 水2	
25	262S4548	生体情報学II	西川 周一	2	第2ターム	火1, 金1	
26	263S4514	動物生理学II	杉本 健吉	2	第3ターム	火2, 金2	生体情報学との重複履修不可
27	263S4517	動物生理学III	安東 宏徳	2	第3ターム	水2, 水3	
28	263S4545	生体情報学I	伊東 孝祐	2	第3ターム	月1, 木1	
29	263S4506	発生生物学II	藤村 衡至	2	第3ターム	火2, 金2	
30	261S4509	分子生物学	杉本 健吉	2	第1ターム	火2, 金2	
31	261S4510	細胞生物学I	伊東 孝祐	2	第1ターム	月1, 木1	
32	263S4512	細胞生物学II	加藤 朗	2	第3ターム	月1, 木1	
33	260S4503	系統動物学	大森 紹仁	2	集中	集中	

12 地質科学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ案内】

①概要	<p>地質学はグローバルな視点から地球、特に上部マントルから地殻における地学現象を体系的に解明する分野です。教育体制として野外実習を重視し、地質調査能力の高い人材育成を特色としています。</p> <p>地質学の教育研究の共通の基礎として、地質体（地層・岩石・鉱物）や化石の時間的空間的位置と産状を正しく把握した上で、体系的・総合的地球像、地球と生物の進化・発展を明らかにします。</p>
②求める人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・地球の科学現象に関する総合的な解決策の立案ができ、計画性・実行力・倫理観を備えた人 ・野外での観察や室内実験から多面的に物事を考える能力とその素養を持つ人 ・自然科学の多様な分野の基礎を理解し、環境問題の解決や自然災害の復興に対する諸問題に積極的に取り組む人
③学修を進めて行く上で、身につけることが望ましい基礎的な能力	<ul style="list-style-type: none"> ・地質学に関する基礎 (自然系共通専門基礎科目の「地学基礎A」「地学基礎B」「地学基礎C」のいずれかを1年次に履修することが望ましいです。) ・地質学（野外地質）に関する知識 (領域基礎科目（地質学）の「地質調査法Ⅰ・Ⅱ」「地質調査法実習Ⅰ・Ⅱ」を2年次に履修することが望ましいです。) ・地質学に関する能力 (理学部専門科目の「地質学入門 a・b」「地層・古生物学入門」「鉱物・岩石学入門」「構造地質学入門」「環境地質学入門」を2年次に履修することが望ましいです。)
④定員の目安	5名
その他留意事項	なし

12 地質科学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ科目リスト】

- ・開講番号・授業担当者・ターム・曜日・時限は、令和8年度の開講状況です。
(2026.2.24現在の科目開設計画に基づき掲載しています。)
- ・掲載している開講番号・授業担当者(代表教員)・ターム・曜日時限は変更される場合があります。
変更後の内容及び教室は、Webシラバスにより確認してください。

	開講番号	科目名	授業担当者	単位	ターム	曜限	備考
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	260S5501	地質調査法Ⅰ	栗原 敏之	2	第1,2ターム	火3	
	264S5502	地質調査法Ⅱ	植田 勇人	1	第4ターム	火3	
	260S5503	地質調査法実習Ⅰ	栗原 敏之	2	集中	集中	
	263S5504	地質調査法実習Ⅱ	植田 勇人	1	第3ターム	火3	
	263S5511	古生物学A	栗原 敏之	1	第3ターム	火4	
	263S5510	地層学A	栗原 敏之	1	第3ターム	火2	
	260S5508	テクトニクス	小林 健太	2	第3,4ターム	木4	
	263S5506	岩石学A	高澤 栄一	1	第3ターム	月2	
	260S5507	岩石学実験Ⅰ	サティッシュクマール	1	第3,4ターム	金2	
	263S5509	鉱物学A	小西 博巳	1	第3ターム	木2	
	260S0578	地学英語	サティッシュクマール	1	第3,4ターム	金4	
	261S0526	地学基礎実習a	サティッシュクマール	1	第1ターム	金3	
	261S0527	地学基礎実習a	小西 博巳	1	第1ターム	金3	1単位のみ認定
	262S0528	地学基礎実習a	栗原 敏之	1	第2ターム	水1	
	262S0529	地学基礎実習b	小林 健太	1	第2ターム	金3	
	263S0530	地学基礎実習b	高橋 俊郎	1	第3ターム	水2	1単位のみ認定
	262S0571	地質学入門a	サティッシュクマール	1	第2ターム	月5	
	262S0572	地質学入門b	栗原 敏之	1	第2ターム	木5	
	261S0574	構造地質学入門	小林 健太	1	第1ターム	月2	
	261S0575	地層・古生物学入門	椎野 勇太	2	第1ターム	火2,金2	
	262S0576	鉱物・岩石学入門	サティッシュクマール	2	第2ターム	火2,金2	
	262S0577	環境地質学入門	卜部 厚志	1	第2ターム	月2	
	260S5512	野外実習A	高橋 俊郎	4	通年	月3	
	260S5505	地質調査法実習Ⅲ	植田 勇人	1	通年	月4	
25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58	263S5521	固体地球化学A	高橋 俊郎	1	第3ターム	火2	
	264S5522	固体地球化学B	高橋 俊郎	1	第4ターム	火2	
	261S5515	鉱物学B	小西 博巳	1	第1ターム	木3	
	261S5532	海洋地質学A	植田 勇人	1	第1ターム	月2	
	261S5533	海洋地質学B	植田 勇人	1	第1ターム	木2	
	261S5526	地層学B	栗原 敏之	1	第1ターム	木4	
	260S5547	地球化学分析法	高澤 栄一	1	通年	集中	
	260S5546	水質化学分析法	渡部 直喜	1	集中	集中	
	263S5527	古生物学B	栗原 敏之	1	第3ターム	木1	
	260S5528	古生物学実験	栗原 敏之	1	第3,4ターム	木2	
	260S5529	海洋生物学実験	栗原 敏之	1	集中	集中	
	260S5524	地質構造解析法	小林 健太	1	第1,2ターム	金2	
	260S5523	構造地質学	豊島 剛志	2	第1,2ターム	木1	
	261S5536	環境地質学	卜部 厚志	2	第1ターム	月5,木5	
	262S5535	第四紀環境学	卜部 厚志	2	第2ターム	月5,木5	
	260S5538	環境地質学実習	卜部 厚志	1	集中	集中	
	260S5541	応用地質学実習	栗原 敏之	1	集中	集中	
	260S0573	フィールド体験実習	植田 勇人	1	集中	集中	
	260S5513	野外実習B	植田 勇人	2	集中	集中	
	260S5520	岩石学実験Ⅱ	高橋 俊郎	1	第1,2ターム	火2	
	262S5516	鉱物学C	小西 博巳	1	第2ターム	木2	
	260S5517	鉱物結晶学実験	小西 博巳	1	第3,4ターム	木3	
	264S5518	岩石学B	植田 勇人	1	第4ターム	月2	
	261S5519	岩石学C	サティッシュクマール	1	第1ターム	火3	
	261S5530	地史学A	サティッシュクマール	1	第1ターム	火4	
	262S5531	地史学B	栗原 敏之	1	第2ターム	火4	
	260S5525	地球物理学	小林 健太	2	第3,4ターム	月2	
	260S5534	東アジアの地質形成史	栗原 敏之	2	第3,4ターム	木5	
	264S5537	水文地質学	渡部 直喜	2	第4ターム	火3,金3	
	260S5539	石油地質学	草宮 尚隆	1	集中	集中	
	260S5540	土木地質学	大河内 誠	1	集中	集中	
	260S5543	地球科学特別講義Ⅰ	武藤 俊	1	集中	集中	隔年開講
	休講	地球科学特別講義Ⅱ		1			隔年開講
	260S5544	地球科学特別講義Ⅲ	畔取 良典	1	集中	集中	

13 自然環境科学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ案内】

①概要	<p>自然環境と人間の好ましい共存関係を探求するには、理学全般、すなわち物理学・化学・生物学・地学の基礎学力を身に付け、自然現象を多角的な視点から総合的に理解する能力を培うことが必要です。</p> <p>本パッケージでは、多様で複雑な自然現象のメカニズムを正しく理解するための基礎学力を身に付け、地球規模での様々な問題に取り組むことのできる広い応用力・問題解決能力を備えた人材育成を目指します。</p>
②求める人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・自然本来の姿を多角的視点からとらえることの重要性を認識している人 ・分野にとらわれず、理学全般にわたった基礎学力を身につける意欲を持った人 ・自然科学の各分野の知識を統合して自然現象を理解する、汎用的能力を身につけたい人
③学修を進めて行く上で、身につけることが望ましい基礎的な能力	<ul style="list-style-type: none"> ・自然科学の基礎的な知識理解 <p>(自然系共通専門基礎科目の「数学基礎A1」・「数学基礎A2」・「物理学基礎B I」・「化学基礎A」・「化学基礎B」・「生物学基礎A」・「生物学基礎B」・「地学基礎A」の中から、複数分野にわたって履修していることが望ましいです。)</p>
④定員の目安	4名
その他留意事項	なし

13 自然環境科学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ科目リスト】

- ・開講番号・授業担当者・ターム・曜日・時限は、令和8年度の開講状況です。
(2026.2.24現在の科目開設計画に基づき掲載しています。)
- ・掲載している開講番号・授業担当者(代表教員)・ターム・曜日時限は変更される場合があります。
変更後の内容及び教室は、Webシラバスにより確認してください。

	開講番号	科目名	授業担当者	単位	ターム	曜限	備考
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	262S0585	多様性生物学B	宮崎 勝己	2	第2ターム	火3, 金3	
	260S0583	機能形態学	林 八寿子	2	第1,2ターム	水2	機能形態学Aとの重複履修不可
	263S4506	発生生物学II	藤村 衡至	2	第3ターム	火2, 金2	機能形態学Bとの重複履修不可
	262S0582	基礎量子力学	副島 浩一	2	第2ターム	月1, 木1	
	264S6502	地形学	奈良間 千之	2	第4ターム	月4, 木4	
	263S6508	生態学	石崎 智美	2	第3ターム	月2, 木2	
	261S0581	環境気象学	本田 明治	2	第1ターム	火2, 金2	
	264G6517	地球と気象	本田 明治	2	第4ターム	火4, 金4	
	261G5017	物理学基礎A I	大野 義章	2	第1ターム	木1, 木2	2単位のみ認定
	260G5016	物理学基礎A I	浅賀 岳彦	2	第1,2ターム	月5	
	260G5015	物理学概論	小林 公一	2	第1,2ターム	金2	2単位のみ認定
	260G5511	物理学概論	大村 彩子	2	第3,4ターム	水1	
	264G5524	地学基礎C	卜部 厚志	2	第4ターム	月1, 木1	
	261G5012	統計学基礎1	坂井 一貴	1	第1ターム	月5	1単位のみ認定
	261G5011	統計学基礎1	家富 洋	1	第1ターム	水1	
	263G5508	統計学基礎1	坂井 一貴	1	第3ターム	月5	
	263G5507	統計学基礎1	原瀬 晋	1	第3ターム	火5	
	262G5013	統計学基礎2	坂井 一貴	1	第2ターム	月5	1単位のみ認定
	262G5014	統計学基礎2	家富 洋	1	第2ターム	水1	
	264G5510	統計学基礎2	坂井 一貴	1	第4ターム	月5	
	264G5509	統計学基礎2	原瀬 晋	1	第4ターム	火5	
	263S0566	基礎細胞遺伝学	墨谷 暢子	2	第3ターム	月4, 月5	
23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36	260S6520	古環境学	則末 和宏・他	2	第3,4ターム	月5	
	260S6516	環境汚染論	宮崎 勝己・他	2	第3,4ターム	水1	
	260S6514	地球環境化学	松岡 史郎・他	2	第1,2ターム	火3	
	261S6503	地球流体力学	本田 明治・他	2	第1ターム	火1, 金1	
	263S6519	適応生物学	林 八寿子・他	2	第3ターム	火2, 金2	
	264S6515	エネルギー物質科学	松岡 史郎・他	2	第4ターム	火2, 金2	
	263S6510	寒冷地形学	奈良間 千之	2	第3ターム	月3, 木3	
	263S7521	環境物理学	本田 明治	2	第3ターム	火4, 金4	
	261S7522	海洋化学	則末 和宏	2	第1ターム	月1, 木1	
	260S4503	系統動物学	大森 紹仁・他	2	集中	集中	
	260S6540	環境政策論a	則末 和宏・他	1	第1,2ターム	第1ターム:月2 第2ターム:集中	R4年度以降入学者対象
260S6546	環境政策論b	細江 まゆみ	1	集中	集中		
	休講	多様性生物学a		1			隔年開講
261S6541		多様性生物学c	墨谷 暢子	1	第1ターム	木2	隔年開講

14 機械システム工学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ案内】

①概要	<p>本プログラムは、ものづくりの基幹である機械工学分野の教育プログラムです。当該分野に関連した基礎的および応用・学際的な内容について学習することにより、多様な観点に基づいてものづくりを主体的・実践的に行うための能力を修得することを目標としています。</p> <p>具体的には、以下についての基礎的な能力を身につけることを目標とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械を構成する部品の強度について評価することができる。 ・機械を構成する部品の機能（流体力学的、熱力学的）が理解できる。 ・機械の振動特性について理解することができる。 ・その外、機械工学に関する基礎的な理論、技術を理解することができる。
②求める人材像	<p>本プログラムは、機械工学に関連した幅広い分野の基礎知識の習得、最新のテクノロジーの学習、および人文社会系分野の学習によって、プログラム修了後、高い倫理観、豊かな創造力および柔軟な思考力を持って、社会に貢献し国際的にも活躍できる技術者・研究者を育成することを目標としています。</p>
③学修を進めて行く上で、身につけることが望ましい基礎的な能力	<p>本プログラムの学修を進めるに当たっては、以下について事前に履修しておくことが望ましいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・微分積分、線形代数の基礎的な内容（「基礎数理A I、 A II、 B」） ・物理学（力学の基礎）（「物理学基礎B I、 B II」）
④定員の目安	8名
その他留意事項	資格の取得については、別途相談してください。

14 機械システム工学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ科目リスト】

- ・開講番号・授業担当者・ターム・曜日・時限は、令和8年度の開講状況です。
(2026.2.24現在の科目開設計画に基づき掲載しています。)
- ・掲載している開講番号・授業担当者(代表教員)・ターム・曜日時限は変更される場合があります。
変更後の内容及び教室は、Webシラバスにより確認してください。

	開講番号	科目名	授業担当者	単位	ターム	曜限	備考
1	263T0103	機械工学概論	平元 和彦・他	2	第3ターム	月4, 木4	
2	264T0105	材料力学入門	紅露 一寛	2	第4ターム	月3, 木3	
3	261T1005	材料力学 I	佐々木 朋裕	2	第1ターム	火1, 金1	
4	263T1028	材料力学 II	佐々木 朋裕	2	第3ターム	月2, 木2	
5	262T1006	流体工学 I	牛田 晃臣	2	第2ターム	月1, 木1	
6	263T1029	流体工学 II	牛田 晃臣	2	第3ターム	月1, 木1	
7	264T1012	熱工学 I	松原 幸治	2	第4ターム	月2, 木2	
8	261T1031	熱工学 II	松原 幸治	2	第1ターム	火2, 金2	
9	264T1014	機械力学 I	平元 和彦	2	第4ターム	月1, 木1	
10	261T1033	機械力学 II	平元 和彦	2	第1ターム	月5, 木5	
11	261T1008	工業力学	平元 和彦・他	2	第1ターム	月2, 木2	
12	262T1027	加工学	坂本 秀一	2	第2ターム	月2, 木2	
13	261T1026	機械設計 I	坂本 秀一	2	第1ターム	月4, 木4	
14	262T1030	機械設計 II	横山 誠	2	第2ターム	月3, 木3	
15	262T1039	エネルギー変換工学	松原 幸治	2	第2ターム	月2, 木2	
16	263T1042	バイオメカニクス	小林 公一	2	第3ターム	月1, 木1	
17	263T1041	機械音響工学	坂本 秀一	2	第3ターム	月4, 木4	
18	262T1040	マイクロマシン	安部 隆	2	第2ターム	月4, 木4	
19	263T1034	システム制御 I	横山 誠	2	第3ターム	月1, 木1	
20	264T1036	システム制御 II	横山 誠	2	第4ターム	月3, 木3	
21	264T1045	ロボット工学	寒川 雅之・他	2	第4ターム	火2, 金2	
22	264T1046	ソフトウェア工学	山縣 貴幸	2	第4ターム	月4, 木4	
23	264T1048	先端研究入門	平元 和彦	2	第4ターム	月5, 木5	
24	263T1035	機械工学演習	平元 和彦	2	第3ターム	火2, 金2	
25	260T1050	技術英会話	ジャイルズ ケント・他	2	第1, 2ターム	木4	

15 社会基盤工学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ案内】

<p>①概要</p>	<p>社会基盤工学は、私たちの生活や産業活動を支える道路や鉄道、港湾などの交通・物流施設や上下水道などのライフラインの構築、維持・管理に加え、自然災害から生命と地域を守る河川堤防などの防災施設を整備するための知識と理論を学ぶ分野です。近年老朽化が進んで問題となっている施設の更新や長寿命化の技術は、人口減の低成長下での持続可能な社会構築への重要な役割が期待されています。猛威を振るう自然災害を対象とした防災技術に対する要求も高まっています。本パッケージでは、そのような社会の要請に応える技術のベースとなる応用力学、水工学、地盤工学、コンクリート工学等に関する基礎知識を学修し、まちづくりを理解し、測量や設計、製図の技法を習得します。</p>
<p>②求める人材像</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・建設や環境、防災等の工学技術に関する基礎理論の習得に積極的に取り組み、最新の技術動向に常に興味を持って学修を深めたいと考えている人。 ・社会基盤工学の課題は地域の自然環境と社会環境のいずれとも不可分であるため、様々な自然現象の分析と理解に意欲的に取り組むとともに、人間や社会への広い視野と高い関心を持ち、他者と協同しながら課題に取り組むことができる人。
<p>③学修を進めて行く上で、身につけることが望ましい基礎的な能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数学に関する能力 （「基礎数理AⅠ」、「基礎数理AⅡ」、「基礎数理B」） ・物理学（力学の基礎）に関する能力 （「物理学基礎BⅠ」、「物理学基礎BⅡ」）
<p>④定員の目安</p>	<p>5名</p>
<p>その他留意事項</p>	<p>資格の取得については、別途相談してください。</p>

15 社会基盤工学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ科目リスト】

- ・開講番号・授業担当者・ターム・曜日・時限は、令和8年度の開講状況です。
(2026.2.24現在の科目開設計画に基づき掲載しています。)
- ・掲載している開講番号・授業担当者(代表教員)・ターム・曜日時限は変更される場合があります。
変更後の内容及び教室は、Webシラバスにより確認してください。

	開講番号	科目名	授業担当者	単位	ターム	曜限	備考
1	264T0104	社会基盤工学概論	紅露 一寛	2	第4ターム	月4, 木4	
2	264T0105	材料力学入門	紅露 一寛	2	第4ターム	月3, 木3	
3	262T2006	応用力学Ⅰ	紅露 一寛	2	第2ターム	月3, 木3	
4	263T2018	応用力学Ⅱ	紅露 一寛	2	第3ターム	月3, 木3	
5	262T2017	応用力学演習Ⅰ	紅露 一寛	2	第2ターム	月4, 木4	
6	263T2019	応用力学演習Ⅱ	紅露 一寛	2	第3ターム	月4, 木4	
7	262T2020	建設材料学	佐伯 竜彦	2	第2ターム	月2, 木2	
8	264T2007	コンクリート工学Ⅰ	佐伯 竜彦	2	第4ターム	月1, 木1	
9	261T2021	コンクリート工学Ⅱ	佐伯 竜彦	2	第1ターム	水1, 水2	
10	263T2008	地盤工学Ⅰ	金澤 伸一	2	第3ターム	水1, 水2	
11	264T2023	地盤工学Ⅱ	金澤 伸一	2	第4ターム	水1, 水2	
12	262T2009	基礎水理学	安田 浩保	2	第2ターム	金1, 金2	
13	263T2025	水理学及び演習Ⅰ	中村 亮太	2	第3ターム	火2, 金2	
14	264T2029	測量学(工)	金澤 伸一	2	第4ターム	火2, 金2	
15	261T2027	社会基盤製図	須田 裕哉	2	第1ターム	水1, 水2	
16	261T2012	社会基盤設計基礎	須田 裕哉	2	第1ターム	月1, 月2, 木1, 木2	
17	261T2001	社会基盤応用数理及び演習Ⅰ	須田 裕哉	2	第1ターム	火3, 金3	
18	263T2022	コンクリート構造工学	佐伯 竜彦	2	第3ターム	月1, 木1	
19	262T2024	地盤工学Ⅲ	保坂 吉則	2	第2ターム	月1, 木1	
20	264T2026	水理学及び演習Ⅱ	安田 浩保	2	第4ターム	金1, 金2	
21	262T2010	社会基盤工学実験Ⅰ	紅露 一寛	2	第2ターム	火3, 火4, 金3, 金4	
22	263T2011	社会基盤工学実験Ⅱ	保坂 吉則	2	第3ターム	火3, 火4, 金3, 金4	
23	260T2030	測量学実習(工)	中村 亮太	2	第1, 2ターム	水3, 水4	
24	264T0435	都市計画学Ⅱ	松井 大輔	2	第4ターム	火4, 金4	
25	261T2004	社会基盤数理工学	紅露 一寛	2	第1ターム	火4, 金4	
26	263T2005	動力学	紅露 一寛	2	第3ターム	火1, 金1	
27	264T2002	社会基盤応用数理及び演習Ⅱ	紅露 一寛	2	第4ターム	火3, 金3	

16 電子情報通信 領域学修科目パッケージ

【パッケージ案内】

①概要	<p>豊かな未来社会を築くために、様々な産業分野において多方面から電子情報通信工学の技術が求められています。電子情報通信プログラムは、幅広い科学技術分野に対応した知識と応用力、産業の更なる発展を牽引できる創造性を兼ね備えた人材育成を目指しています。このように、カリキュラムに沿った学修で国際的に活躍できる技術者としての資質を理解してもらいます。</p>
②求める人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・大学における勉学に必要な基礎学力、思考力、勉学意欲、明確な志望動機、主体性を持ち、電子情報通信工学への高い関心を有する人 ・多種多様な文化、経済、政治、人間、および自然などと科学技術の相互関係を理解し、科学技術の位置付け・意義について理解している人 ・技術者として必要とされる倫理観と責任を理解し、科学技術の人類の幸福への貢献について考えることができる人
③学修を進めて行く上で、身につけることが望ましい基礎的な能力	<ul style="list-style-type: none"> ・数学基礎に関する能力 （「基礎数理AⅠ」、「基礎数理AⅡ」、「基礎数理B」） ・物理学基礎に関する能力 （「物理学基礎BⅠ」、「物理学基礎BⅡ」） ・情報処理基礎に関する能力 （「コンピュータ基礎」、「プログラミング基礎Ⅰ（情報電子分野）」、「プログラミング基礎Ⅱ（情報電子分野）」）
④定員の目安	7名
その他留意事項	資格の取得については、別途相談してください。

16 電子情報通信 領域学修科目パッケージ

【パッケージ科目リスト】

- ・開講番号・授業担当者・ターム・曜日・時限は、令和8年度の開講状況です。
(2026.2.24現在の科目開設計画に基づき掲載しています。)
- ・掲載している開講番号・授業担当者(代表教員)・ターム・曜日時限は変更される場合があります。
変更後の内容及び教室は、Webシラバスにより確認してください。

	開講番号	科目名	授業担当者	単位	ターム	曜限	備考
1	263T0201	電子情報通信概論	崔 森悦・他	1	第3ターム	木1	
2	263T0202	知能情報システム概論	山崎 達也・他	1	第3ターム	木2	
3	261T3020	プログラミングB I	村松 正吾・他	2	第1ターム	金1, 金2	
4	262T3021	プログラミングB II	村松 正吾・他	2	第2ターム	木1, 木2	
5	260T3051	電気回路 I	金 ミンソク	3	第1,2ターム	月1, 月2	
6	260T3052	電気回路 II	山家 清之	3	第3,4ターム	金3, 金4	
7	261T3025	電気回路 III	菅原 晃	2	第1ターム	水1, 水2	
8	262T3004	電気数理 I	城内 紗千子	2	第2ターム	火4, 金4	
9	264T3005	電気数理 II	福井 聡・他	2	第4ターム	水1, 水2	
10	260T3053	電磁気学 I	清水 英彦・他	3	第3,4ターム	火3, 火4	
11	260T3057	電磁気学 II	小川 純	3	第1,2ターム	月3, 月4	
12	262T3006	物理工学 II	後藤 和泰	2	第2ターム	火2, 金2	
13	263T3026	電気計測	馬場 暁・他	2	第3ターム	木3, 木4	
14	262T3022	デジタル回路	金 ミンソク	2	第2ターム	水1, 水2	
15	264T3033	電子デバイス I	新保 一成	2	第4ターム	月1, 木2	
16	263T3007	物理工学 III	大平 泰生・他	2	第3ターム	火2, 金2	
17	264T3008	物理工学 IV	増田 淳	2	第4ターム	火1, 金1	
18	264T3027	電子回路	村松 正吾	2	第4ターム	木3, 木4	
19	263T3035	電子物性工学 I	清水 英彦	2	第3ターム	月3, 月4	
20	262T3032	技術英語	馬場 暁	2	第2ターム	火1, 金1	
21	262T3034	電子デバイス II	馬場 暁	2	第2ターム	金3, 金4	
22	262T3031	システム制御工学	崔 森悦	2	第2ターム	木1, 木2	
23	261T3030	デジタル信号処理	佐々木 重信	2	第1ターム	月1, 木1	
24	263T3039	画像情報工学	村松 正吾	2	第3ターム	火2, 金2	
25	264T3037	通信方式基礎	佐々木 重信	2	第4ターム	火1, 金1	
26	264T3036	電子物性工学 II	増田 淳	2	第4ターム	火5, 金5	
27	264T3042	光応用工学	崔 森悦	2	第4ターム	火2, 金2	
28	263T3041	光量子電子工学	大平 泰生	2	第3ターム	月2, 木2	
29	261T3043	電気機器	福井 聡	2	第1ターム	火3, 金3	
30	261T3044	送配電工学	福井 聡	2	第1ターム	火2, 金2	
31	264T3045	パワーエレクトロニクス	菅原 晃	2	第4ターム	水1, 水2	
32	260T3015	電子情報通信設計製図	新保 一成・他	2	第3,4ターム	水3, 水4, 水5	
33	260T3049	電波・電気通信法規	平出 良介	2	第1,2ターム	水4	
34	260T3046	発変電工学	埴淵 憲太	2	第1,2ターム	木2	
35	262T3047	高電圧工学	菅原 晃	2	第2ターム	水1, 水2	
36	260T3050	電気法規・施設管理	古澤 聡志	1	第3,4ターム	木1	隔週開講予定

17 知能情報システム 領域学修科目パッケージ

※令和6年度以前入学者適用

【パッケージ案内】

①概要	知能情報システム領域学修科目パッケージでは、知能情報システムと地球・人間・社会との関わり合いの中で生じている様々な課題を解決するために、コンピュータサイエンス・情報ネットワーク・マルチメディア・情報セキュリティ等の知能情報システム分野の技術・知識を幅広く身につけることを目指します。
②求める人材像	<ul style="list-style-type: none">・知能情報システムにおける基礎科目である数学、理科、外国語などバランスのとれた基礎学力と思考の柔軟性を身につけ、知能情報システムに強い興味と意欲をもち、論理的思考力を兼ね備えている人・自ら学ぶことができる強い意志と行動力を持った人
③学修を進めて行く上で、身につけることが望ましい基礎的な能力	<ul style="list-style-type: none">・UNIX オペレーティングシステムを使うことができる基礎的な能力（「コンピュータ基礎」）・プログラミング言語によるデータ処理ができる基礎的な能力（「プログラミング基礎Ⅰ（情報電子分野）」、「プログラミング基礎Ⅱ（情報電子分野）」）・科目区分「自然系共通専門基礎」・細区分「数学・統計学」の中から4単位以上修得していることが望ましいです。
④定員の目安	7名
その他留意事項	資格の取得については、別途相談してください。 (令和6年度以前入学者まで選択可)

17 知能情報システム 領域学修科目パッケージ 【令和6年度以前入学者適用】

【パッケージ科目リスト】

- ・開講番号・授業担当者・ターム・曜日・時限は、令和8年度の開講状況です。
(2026.2.24現在の科目開設計画に基づき掲載しています。)
- ・掲載している開講番号・授業担当者(代表教員)・ターム・曜日時限は変更される場合があります。
変更後の内容及び教室は、Webシラバスにより確認してください。

	開講番号	科目名	授業担当者	単位	ターム	曜限	備考
1	263T0201	電子情報通信概論	崔 森悦・他	1	第3ターム	木1	
2	263T0202	知能情報システム概論	山崎 達也・他	1	第3ターム	木2	
3	262T4021	データ構造とアルゴリズム	高橋 俊彦	2	第2ターム	火2, 金2	2年次推奨
4	261T4023	離散数学	高橋 俊彦	2	第1ターム	火2, 金2	2年次推奨
5	261T4010	プログラミングA I	上野 雄大	2	第1ターム	水1, 水2	2年次推奨
6	262T4011	プログラミングA II	上野 雄大・他	2	第2ターム	水3, 水4	2年次推奨
7	263T4024	論理回路	高橋 俊彦	2	第3ターム	水1, 水2	2年次推奨
8	262T4025	コンピュータネットワーク	中野 敬介	2	第2ターム	月2, 木2	2年次推奨
9	263T4026	形式言語とオートマトン	青戸 等人	2	第3ターム	火1, 金1	2年次推奨
10	263T4050	人工知能基礎	山崎 達也	2	第3ターム	火2, 金2	2年次推奨
11	261T4029	信号処理	山田 寛喜	2	第1ターム	水1, 水2	3年次推奨
12	262T4030	情報理論	山田 寛喜	2	第2ターム	月1, 月2	3年次推奨
13	261T4033	データ工学	阿部 貴志	2	第1ターム	月3, 月4	3年次推奨
14	264T4027	オペレーティングシステム	教員未定	2	第4ターム	水3, 水4	2年次推奨
15	264T4045	アシスティブ・テクノロジー	今村 孝	2	第4ターム	水1, 水2	3年次推奨
16	260T4043	マルチメディアコンピューティング	飯田 佑輔	2	第3, 4ターム	水3	3年次推奨
17	262G3005	エンジニアのためのデータサイエンス入門 (情報電子分野)	山崎 達也	2	第2ターム	火3, 金3	
18	262T4022	電気回路	宮北 和之	2	第2ターム	火4, 金4	2年次推奨
19	264T4034	数理論理学	青戸 等人	2	第4ターム	火3, 金3	2年次推奨
20	264T4035	ネットワーク工学	中野 敬介	2	第4ターム	月2, 木1	2年次推奨
21	264T4036	基礎電子回路	教員未定	2	第4ターム	月1, 木2	2年次推奨
22	261T4038	数値計算プログラミング	石井 望	2	第1ターム	火1, 金1	3年次推奨
23	263T4041	コンパイラ	上野 雄大	2	第3ターム	火4, 火5	3年次推奨
24	260T4046	電子デバイス	教員未定	2	第1, 2ターム	集中	3年次推奨
25	262T4047	プログラミングA III	青戸 等人・他	2	第2ターム	月3, 月4	3年次推奨
26	262T4052	機械学習	山崎 達也・他	2	第2ターム	火2, 金2	3年次推奨
27	261T4040	ロボティクス・メカトロニクス	今村 孝	2	第1ターム	火3, 火4	3年次推奨

18 情報社会デザイン科学 領域学修科目パッケージ

※令和7年度以降入学者適用

【パッケージ案内】

① 概要	情報社会デザイン科学領域学修科目パッケージでは、高度な情報通信、データサイエンス、デジタル技術、デジタルトランスフォーメーションを学んだ上で、課題分析ができ、様々な観点で検討を加え、解決方法を見出せる技術・知識を幅広く身につけることを目指します。
②求める人材像	・情報社会デザイン科学における基礎科目である数学、理科、外国語などバランスのとれた基礎学力と思考の柔軟性を身につけ、情報社会デザイン科学に強い興味と意欲をもち、論理的思考力を兼ね備えている人 ・自ら学ぶことができる強い意志と行動力を持った人
③学修を進めて行く上で、身につけることが望ましい基礎的な能力	○創生学修コース ・UNIX オペレーティングシステムを使うことができる基礎的な能力（「コンピュータ基礎」） ・プログラミング言語によるデータ処理ができる基礎的な能力（「プログラミング基礎Ⅰ（情報電子分野）」、「プログラミング基礎Ⅱ（情報電子分野）」） ○DX共創コース ・DXスタディーズを修得していること ○両コース共通 ・科目区分「自然系共通専門基礎」・細区分「数学・統計学」の中から4単位以上、および「経営学入門」「経営学概論Ⅰ・Ⅱ」を修得していることが望ましいです
④定員の目安	若干名（創生学修コースにおける定員）
その他留意事項	DX共創コースに所属している学生は、このパッケージに配属されます。（令和7年度以降入学者から選択可）

18 情報社会デザイン科学 領域学修科目パッケージ 【令和7年度以降入学者適用】

【パッケージ科目リスト】

- ・開講番号・授業担当者・ターム・曜日・時限は、令和8年度の開講状況です。
(2026.2.24現在の科目開設計画に基づき掲載しています。)
- ・掲載している開講番号・授業担当者(代表教員)・ターム・曜日時限は変更される場合があります。
変更後の内容及び教室は、Webシラバスにより確認してください。

	開講番号	科目名	授業担当者	単位	ターム	曜限	備考
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	263T0201	電子情報通信概論	崔 森悦・他	1	第3ターム	木1	
	263T0202	知能情報システム概論	山崎 達也・他	1	第3ターム	木2	
	262T4021	データ構造とアルゴリズム	高橋 俊彦	2	第2ターム	火2, 金2	2年次推奨
	261T4023	離散数学	高橋 俊彦	2	第1ターム	火2, 金2	2年次推奨
	261T4010	プログラミングA I	上野 雄大	2	第1ターム	水1, 水2	2年次推奨
	262T4011	プログラミングA II	上野 雄大・他	2	第2ターム	水3, 水4	2年次推奨
	263T4024	論理回路	高橋 俊彦	2	第3ターム	水1, 水2	2年次推奨
	262T4025	コンピュータネットワーク	中野 敬介	2	第2ターム	月2, 木2	2年次推奨
	263T4026	形式言語とオートマトン	青戸 等人	2	第3ターム	火1, 金1	2年次推奨
	263T4050	人工知能基礎	山崎 達也	2	第3ターム	火2, 金2	2年次推奨
	261T4029	信号処理	山田 寛喜	2	第1ターム	水1, 水2	3年次推奨
	262T4030	情報理論	山田 寛喜	2	第2ターム	月1, 月2	3年次推奨
	261T4033	データ工学	阿部 貴志	2	第1ターム	月3, 月4	3年次推奨
	264T4027	オペレーティングシステム	教員未定	2	第4ターム	水3, 水4	2年次推奨
	264T4045	アシスティブ・テクノロジー	今村 孝	2	第4ターム	水1, 水2	3年次推奨
	260T4043	マルチメディアコンピューティング	飯田 佑輔	2	第3, 4ターム	水3	3年次推奨
	262G3005	エンジニアのためのデータサイエンス入門 (情報電子分野)	山崎 達也	2	第2ターム	火3, 金3	
	262T4002	電気数理 I	石井 望・他	2	第2ターム	月1, 木1	2年次推奨
	262T0502	協創経営概論	小浦方 格・他	2	第2ターム	木3, 木4	
	261T0504	アントレプレナーシップ	小浦方 格	2	第1ターム	火3, 金3	
	262E6047	計量経済学 I	伊藤 伸幸	2	第2ターム	火3, 金3	
	休講	計量経済学 II	伊藤 伸幸	2	第3ターム	火3, 金3	
	260H2023	メディア社会文化論概説 B	榎本 千賀子	2	第3, 4ターム	木3	2年次以上
	260H2021	情報メディア論概説 B	中村 隆志	2	第3, 4ターム	月3	2年次以上
25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43	262T4022	電気回路	宮北 和之	2	第2ターム	火4, 金4	2年次推奨
	264T4034	数理論理学	青戸 等人	2	第4ターム	火3, 金3	2年次推奨
	264T4035	ネットワーク工学	中野 敬介	2	第4ターム	月2, 木1	2年次推奨
	264T4036	基礎電子回路	教員未定	2	第4ターム	月1, 木2	2年次推奨
	261T4038	数値計算プログラミング	石井 望	2	第1ターム	火1, 金1	3年次推奨
	263T4041	コンパイラ	上野 雄大	2	第3ターム	火4, 火5	3年次推奨
	260T4046	電子デバイス	教員未定	2	第1, 2ターム	集中	3年次推奨
	262T4047	プログラミングA III	青戸 等人・他	2	第2ターム	月3, 月4	3年次推奨
	262T4052	機械学習	山崎 達也・他	2	第2ターム	火2, 金2	3年次推奨
	261T4040	ロボティクス・メカトロニクス	今村 孝	2	第1ターム	火3, 火4	3年次推奨
	264T4037	データベース	阿部 貴志	2	第4ターム	火3, 火4	3年次推奨
	262T8019	経営管理入門	東瀬 朗	2	第2ターム	月3, 月4	2年次推奨
	261T8021	組織マネジメント基礎	白川 展之	2	第1ターム	火5, 金5	3年次推奨
	262T8005	プロジェクト・マネジメント基礎	尾田 雅文	2	第2ターム	火3, 金3	3年次推奨
	263T8006	マーケティング基礎	原田 佳実	2	第3ターム	木3, 木4	3年次推奨
	262L3404	情報セキュリティと法 I (情報セキュリティ)	須川 賢洋	2	第2ターム	水3, 水4	
	263L3405	情報セキュリティと法 II (IT社会制度)	須川 賢洋	2	第3ターム	水3, 水4	
	262E6150	経営戦略論 I	伊藤 龍史	2	第2ターム	火4, 金4	
	260H4020	情報メディア論 B	中村 隆志	2	第2ターム	金3, 金4	3年次以上

19 化学システム工学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ案内】

①概要	<p>工学系の化学は、エネルギー資源やあらゆる分野で必要とされる材料を創製・供給すること、および、環境汚染を防止し、環境を修復することにより人類の安全、健康、福祉に貢献する使命を担っています。このような社会的要請に応えるために、本学科では、新物質や新材料の開発および生産工程に関与する技術者・研究者の養成をめざして、バイオ、環境、エネルギー関連を含めた化学的生産に関する基礎から応用まで幅広い教育研究を行っています。</p> <p>入学から2年第1学期を中心として、化学技術者・研究者としての基盤を養成します。2年第2学期より、応用化学コースと化学工学コースの二つのコースを設け、技術者としての共通基盤に加えてさらに専門的な知識・技能を修得させ、専門的問題解決能力を養成するための少人数教育を行います。応用化学コースでは、新物質・新素材の設計開発ならびに合成・分析手法の確立に中心的な役割を果たす化学技術者・研究者を養成します。化学工学コースでは、材料・製品の開発から工業的生産、廃棄物処理に至るまでの要素技術やプロセスの開発と操作に中心的な役割を果たす化学技術者・研究者を養成します。</p>
②求める人材像	<p>化学およびその関連分野に強い興味と勉学意欲を持ち、幅広い視野と総合的な基礎学力を有し、さらには将来化学技術者・研究者として人類の幸福や社会の発展に貢献することを志す学生を希望します。</p>
③学修を進めて行く上で、身につけることが望ましい基礎的な能力	<p>5教科7科目について高等学校卒業レベルの基礎学力を身につけていることが望ましいです。特に数学と理科については、以下の科目の内容を理解しておくことが望ましいです。</p> <p>数学：数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 理科：化学（化学基礎・化学）を含め、物理あるいは生物いずれかの2科目</p> <p>大学ではGコード科目の「化学基礎」、「物理学基礎」、「数学基礎」の単位をそれぞれ2単位以上修得していることを強く希望します。</p>
④定員の目安	8名
その他留意事項	資格の取得については、別途相談してください。

20 材料科学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ案内】

①概要	多様化する産業構造とそのニーズに対応するために、工学を俯瞰する広い視点と基礎的な材料科学を身に付けた人材を育成します。すなわち、複雑化した工学ならびに材料科学の課題から問題点を抽出して解決できる人材の育成を目指します。
②求める人材像	物理と化学に深い関心を持ち、新しい材料を開発したり、材料の機能発現機構を解明することに強い意欲を持つ学生。
③学修を進めて行く上で、身につけることが望ましい基礎的な能力	事前に高等学校レベルの「数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」、「物理基礎」および「化学基礎」の内容を理解しておくことが望ましいです。 1年次に教養系科目の「基礎数理AⅠ」、「基礎数理AⅡ」、「基礎数理B」、「物理学基礎BⅠ」、および「物理学基礎BⅡ」を修得していることが望ましいです。
④定員の目安	5名
その他留意事項	資格の取得については、別途相談してください。

20 材料科学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ科目リスト】

- ・開講番号・授業担当者・ターム・曜日・時限は、令和8年度の開講状況です。
(2026.2.24現在の科目開設計画に基づき掲載しています。)
- ・掲載している開講番号・授業担当者(代表教員)・ターム・曜日時限は変更される場合があります。
変更後の内容及び教室は、Webシラバスにより確認してください。

	開講番号	科目名	授業担当者	単位	ターム	曜限	備考	
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14	264T0301	基礎無機化学	八木 政行・他	2	第4ターム	月5, 木5		
	263T0302	基礎有機化学	田中 孝明・他	2	第3ターム	月5, 木5		
	261T6004	基礎電磁気学	中野 智仁	2	第1ターム	月2, 木2	2年生以上	
	263T6006	基礎量子力学(工)	武田 直也	2	第3ターム	月2, 木2	2年生以上	
	264T6007	基礎統計物理	武田 直也	2	第4ターム	火4, 金4	2年生以上	
	262T6008	基礎材料物理化学	三俣 哲	2	第2ターム	月5, 木5	2年生以上	
	262T6009	基礎材料組織学	大木 基史	2	第2ターム	火1, 金1	2年生以上	
	263T6017	受動電気回路素子論	坪井 望	2	第3ターム	水1, 木2	2年生以上、令和6年度入学者まで履修可	
	263T6025	材料分析化学	由井 樹人	2	第3ターム	月4, 木4	2年生以上	
	264T6028	高分子科学	山内 健	2	第4ターム	月4, 木4	2年生以上	
	264T6031	工業生化学	落合 秋人	2	第4ターム	月2, 木2	2年生以上	
	263T6003	物理数学	石塚 淳	2	第3ターム	火1, 金1	2年生以上	
	261T6005	基礎解析力学	瀧本 哲也	2	第1ターム	火2, 金2	2年生以上	
	262T6035	計測工学	坪井 望・他	2	第2ターム	月3, 木3	3年生以上	
15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28	263T6022	磁性・超伝導	武田 直也	2	第3ターム	月4, 木4	3年生以上	
	264T6023	半導体物性・デバイス	坪井 望	2	第4ターム	月3, 木3	3年生以上	
	262T6026	電気化学	八木 政行・他	2	第2ターム	月4, 木4	3年生以上	
	264T6027	光化学	由井 樹人	2	第4ターム	火3, 金3	3年生以上	
	263T6041	触媒化学	齊藤 健二	2	第3ターム	火2, 金2	3年生以上、令和3年度以降入学者のみ履修可	
	261T6029	高分子材料化学	三俣 哲	2	第1ターム	火2, 金2	3年生以上	
	263T6030	機能性高分子材料	山内 健	2	第3ターム	月3, 木3	3年生以上	
	261T6032	生体分子工学	落合 秋人	2	第1ターム	木3, 木4	3年生以上	
	262T6033	生物材料工学	田中 孝明	2	第2ターム	月2, 木2	3年生以上	
	261T6034	材料評価学	大木 基史	2	第1ターム	火1, 金1	3年生以上	
	264T6018	応用電磁気学	中野 智仁	2	第4ターム	火1, 金1	2年生以上	
	262T6019	応用量子力学	瀧本 哲也	2	第2ターム	火2, 金2	3年生以上	
	261T6020	応用統計物理	瀧本 哲也	2	第1ターム	月1, 木1	3年生以上	
	264T6021	物質構造論	中野 智仁	2	第4ターム	火2, 金2	3年生以上	
	29	261T6010	材料科学実験 I	武田 直也・他	2	第1ターム	火3, 火4, 金3, 金4	3年生以上、2単位のみ認定
	30	262T6011	材料科学実験 I	武田 直也・他	2	第2ターム	火3, 火4, 金3, 金4	
	31	261T6012	材料科学実験 II	大木 基史・他	2	第1ターム	火3, 火4, 金3, 金4	3年生以上、2単位のみ認定
	32	262T6013	材料科学実験 II	大木 基史・他	2	第2ターム	火3, 火4, 金3, 金4	

21 建築学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ案内】

①概要	<p>住宅、ビル、学校、劇場、図書館などの建築物と、その集合体である都市を計画・設計するための基礎知識を学びます。建築学が対象とする分野では、環境との調和や社会に関わる問題解決が必要とされ、工学的な知識、倫理思考、社会的関心、芸術的感性など幅広い教養が求められます。将来、これらの素養を活かして、建築分野のみならず、デザイン、インテリア、不動産、環境など、多様な分野での活躍が可能です。</p>
②求める人材像	<p>建築・都市に関わる分野に関心と熱意を持つ学生、理系・文系に偏らない総合的な基礎学力と独自の視点を有する学生、卒業後に豊かな生活環境づくりの面で地域と国際社会に貢献することを希望している意欲的な学生を求めています。</p>
③学修を進めて行く上で、身につけることが望ましい基礎的な能力	<p>建築学の講義科目は、以下の4分野から成り立ちます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 建築材料・構造分野の科目＝建築材料・構造学、建築施工など 2) 建築環境工学分野の科目＝建築環境工学など 3) 建築計画分野の科目＝建築計画、建築史など 4) 都市計画分野の科目＝都市計画、建築法規など <p>この4分野で学んだことを総合して</p> <ol style="list-style-type: none"> 5) 建築設計製図に取り組みます。各自の創意工夫により建物を設計する実習科目です。 <p>そのため、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 数学（微分積分、微分方程式、線形代数）、物理学（力学）の基礎知識に関する教養系科目等を履修していること 2) デザイン論、美術史の科目や、建築・都市の背景となる社会、文化、環境に関する教養系科目等を履修しておくことが望ましいです。
④定員の目安	4名
その他留意事項	資格の取得については、別途相談してください。

21 建築学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ科目リスト】

- ・開講番号・授業担当者・ターム・曜日・時限は、令和8年度の開講状況です。
(2026.2.24現在の科目開設計画に基づき掲載しています。)
- ・掲載している開講番号・授業担当者(代表教員)・ターム・曜日時限は変更される場合があります。
変更後の内容及び教室は、Webシラバスにより確認してください。

	開講番号	科目名	授業担当者	単位	ターム	曜限	備考
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	263T0401	建築学概論	宮内 杏里・他	2	第3ターム	火4, 金4	
	261T0418	建築構造解析学・演習Ⅰ	加藤 大介	2	第1ターム	月3, 月4	
	262T0419	建築構造解析学・演習Ⅱ	中村 孝也	2	第2ターム	月3, 月4	
	262T0427	建築材料	中村 孝也・他	2	第2ターム	火3, 金3	
	263T0428	建築環境工学Ⅰ	有波 裕貴・他	2	第3ターム	火3, 金3	
	261T0429	建築環境工学Ⅱ	大嶋 拓也・他	2	第1ターム	火2, 金2	
	261T0446	建築環境制御学Ⅰ	有波 裕貴・他	2	第1ターム	火3, 金3	
	261T0441	日本建築史	黒野 弘靖	2	第1ターム	火2, 金2	
	264T0414	建築計画学Ⅰ	宮内 杏里・他	2	第4ターム	火2, 金2	
	262T0440	建築計画学Ⅱ	棒田 恵	2	第2ターム	金1, 金2	
	262T0434	都市計画学Ⅰ	岡崎 篤行・他	2	第2ターム	火4, 金4	
	264T0435	都市計画学Ⅱ	松井 大輔	2	第4ターム	火4, 金4	
	261T0436	都市デザイン論	岡崎 篤行・他	2	第1ターム	火4, 金4	
14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28	263T0420	建築構造解析学・演習Ⅲ	生越 季理・他	2	第3ターム	月3, 月4	
	264T0442	建築構造解析学・演習Ⅳ	土井 希祐	2	第4ターム	月3, 月4	
	261T0421	建築構造設計Ⅰ	中村 孝也	2	第1ターム	月3, 月4	
	263T0447	建築環境制御学Ⅱ	大嶋 拓也・他	2	第3ターム	火2, 金2	
	264T0448	近代建築史	棒田 恵	2	第4ターム	木1, 木2	
	263T0417	設計方法論	棒田 恵	2	第3ターム	木1, 木2	
	261T0450	建築法規	加藤 雅之	2	第1ターム	火1, 金1	
	260T0445	建築施工	小林 正宜	2	第1, 2ターム	月3	
	263T0402	建築図学Ⅰ	棒田 恵・他	1	第3ターム	木3	
	264T0403	建築図学Ⅱ	棒田 恵・他	1	第4ターム	木3	
	261T0407	建築製図基礎Ⅰ	宮内 杏里・他	1	第1ターム	水4	
	262T0408	建築製図基礎Ⅱ	宮内 杏里・他	1	第2ターム	水4	
	263T0409	建築設計製図Ⅰ	棒田 恵・他	2	第3ターム	水3, 水4, 水5, 金4	
	264T0410	建築設計製図Ⅱ	宮内 杏里・他	2	第4ターム	火3, 水2, 水3, 水4	
	263T0437	都市計画・デザイン演習	松井 大輔・他	2	第3ターム	木4, 木5	

22 生物資源科学・流域環境学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ案内】

①概要	<ul style="list-style-type: none"> ・植物ならびに動物の生産を基盤とした経済活動である農業の基礎知識を習得し、地球規模から見た現在の農業について理解します。 ・上流域の森林から中山間地を経て下流域の水田地帯に至る一連の流域における資源・環境・防災の諸問題を解決し、流域管理の視点を習得します。
②求める人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・農業・農村・環境・生命に関わる諸問題に強い関心がある人。 ・現代社会が直面する食料・資源問題や環境問題の解決に正面から取り組む意欲をもつ人。 ・上記の問題の生じた現場に行き、解決のため積極的に身体を動かすことのできる人。 ・地球環境問題に強い関心を持ち、それらを生態系の保全と農林業生産に役立てることに意欲のある人。
③学修を進めて行く上で、身につけることが望ましい基礎的な能力	<p>事前に自然系共通専門基礎を6単位以上、修得していることが望ましいです。</p>
④定員の目安	10名
その他留意事項	なし

22 生物資源科学・流域環境学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ科目リスト】

- ・開講番号・授業担当者・ターム・曜日・時限は、令和8年度の開講状況です。
(2026.2.24現在の科目開設計画に基づき掲載しています。)
- ・掲載している開講番号・授業担当者(代表教員)・ターム・曜日時限は変更される場合があります。
変更後の内容及び教室は、Webシラバスにより確認してください。

	開講番号	科目名	授業担当者	単位	ターム	曜限	備考
1	260A0003	基礎農林学実習	山城 秀昭・他	1	集中	集中	
2	261A0097	食料資源経済学	古澤 慎一	2	第1ターム	木3, 木4	
3	261A0152	資源植物生産学概論	佐野 義孝・他	2	第1ターム	月1, 木1	
4	261A0153	資源動物科学概論	板野 志郎・他	2	第1ターム	水1, 水2	
5	262A0105	国際フードシステム論	木南 莉莉	2	第2ターム	火3, 火4	
6	264A0154	作物学	山崎 将紀	2	第4ターム	月3, 木3	
7	264A0155	果樹・蔬菜園芸学	大谷 真広	2	第4ターム	火2, 金2	
8	262A0151	植物育種学	深井 英吾	2	第2ターム	火1, 金1	
9	262A0026	動物遺伝学	山田 宜永	2	第2ターム	金3, 金4	
10	261A0129	農地と水利用	宮津 進	2	第1ターム	月2, 木2	
11	263A0051	食料環境工学	大橋 慎太郎	2	第3ターム	火1, 金1	
12	264A0054	精密農業工学	長谷川 英夫	2	第4ターム	火3, 火4	
13	261A0059	環境砂防学	権田 豊	2	第1ターム	火4, 金4	
14	262A0127	フォレスター入門	村上 拓彦・他	2	第2ターム	月1, 木1	
15	263A0062	流域環境GIS	村上 拓彦・他	2	第3ターム	火2, 金2	2年生対象
16	264A0108	農業経営学	水見 理	2	第4ターム	火2, 金2	
17	263A0024	植物遺伝学	岡田 萌子	2	第3ターム	月2, 木2	
18	262A0099	動物解剖生理学	杉山 稔恵	2	第2ターム	火2, 金2	
19	263A0109	農業農村開発論	木南 莉莉	2	第3ターム	木3, 木4	
20	263A0098	植物病理学	湊 菜未	2	第3ターム	月3, 木3	
21	264A0038	動物発生生殖学	山城 秀昭	2	第4ターム	金3, 金4	
22	263A0046	花卉園芸学	中野 優	2	第3ターム	火2, 金2	
23	262A0037	植物細胞工学	中野 優	2	第2ターム	月1, 木1	
24	263A0135	土壌物理学	粟生田 忠雄	2	第3ターム	月1, 木1	環境地水学との重複履修不可
25	263A0053	農村空間デザイン学	坂田 寧代	2	第3ターム	月2, 木2	
26	264A0068	土環境工学	稲葉 一成・他	2	第4ターム	月3, 木3	
27	264A0067	構造デザイン工学	鈴木 哲也	2	第4ターム	火2, 金2	
28	262A0064	水環境工学	吉川 夏樹	2	第2ターム	水1, 水2	
29	261A0136	環境材料工学	鈴木 哲也	2	第1ターム	月2, 木2	
30	262A0055	バイオマスエネルギー論	長谷川 英夫・他	2	第2ターム	月1, 木1	
31	261A0061	野生植物生態学	本間 航介・他	2	第1ターム	月3, 月4	
32	261A0052	野生動物生態学	関島 恒夫	2	第1ターム	木3, 木4	
33	262A0071	林木育種学	森口 喜成	1	第2ターム	月3	森林遺伝育種学との重複履修不可
34	262A0072	生態遺伝学	森口 喜成	1	第2ターム	月4	森林遺伝育種学との重複履修不可
35	263A0077	森林再生学	柴田 嶺	2	第3ターム	水1, 水2	
36	264A0160	森林保護学	夏川 遼生	2	第4ターム	金3, 金4	
37	263A0075	温暖化メカニズム・影響学	永野 博彦・他	2	第3ターム	月2, 木2	
38	261A0073	環境リモートセンシング	村上 拓彦	1	第1ターム	水2	リモートセンシングとの重複履修不可
39	263A0069	流域水文学	Whitaker Andrew	2	第3ターム	火3, 金3	

23 応用生命科学・食品科学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ案内】

①概要	<p>微生物・植物・動物の生命現象を分子や細胞のレベルで理解し、生物の持つ様々な機能を開発・応用するための知識、人の健康維持を目指した食品および栄養に関する幅広い知識、人間生活や地球環境保全に関連の深い土壌の働きや植物生理と肥料および植物成分の科学的利用に関する知識を修得します。</p>
②求める人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物・植物・動物の生命現象や農林畜産物・食品の生産・加工・利用等に強い関心がある人 ・粘り強く勉学を続ける強い意志のある人
③学修を進めて行く上で、身につけることが望ましい基礎的な能力	<p>事前に自然系共通専門基礎を6単位以上、修得していることが望ましいです。</p>
④定員の目安	<p>10名</p>
その他留意事項	<p>なし</p>

23 応用生命科学・食品科学 領域学修科目パッケージ

【パッケージ科目リスト】

- ・開講番号・授業担当者・ターム・曜日・時限は、令和8年度の開講状況です。
(2026.2.24現在の科目開設計画に基づき掲載しています。)
- ・掲載している開講番号・授業担当者(代表教員)・ターム・曜日時限は変更される場合があります。
変更後の内容及び教室は、Webシラバスにより確認してください。

	開講番号	科目名	授業担当者	単位	ターム	曜限	備考
1	260A0003	基礎農林学実習	山城 秀昭・他	1	集中	集中	
2	262A0004	生物化学 I	中川 颯也	2	第2ターム	月1, 木1	
3	262A0005	微生物学	鈴木 一史	2	第2ターム	水1, 水2	
4	261A0009	分析化学(農)	大竹 憲邦・他	2	第1ターム	月1, 木1	
5	262A0085	食品機能学	原 崇	2	第2ターム	木1, 木2	
6	262A0006	土壌学概論	鈴木 一輝	2	第2ターム	火2, 金2	
7	264A0012	植物成分化学	三亀 啓吾	2	第4ターム	火2, 金2	
8	262A0008	食品化学	城 斗志夫	2	第2ターム	火3, 火4	
9	263A0047	動物栄養学	藤村 忍	2	第3ターム	火2, 金2	
10	263A0083	農産食品学	中井 博之・他	2	第3ターム	水1, 水2	
11	264A0048	畜産食品学	西海 理之	2	第4ターム	火1, 火2	
12	261A0082	食品衛生学	筒浦 さとみ・他	2	第1ターム	火1, 火2	
13	261A0080	食品工学	北岡 本光	2	第1ターム	月2, 木2	
14	262A0037	植物細胞工学	中野 優	2	第2ターム	月1, 木1	
15	262A0042	細胞分子生物学	伊藤 紀美子	2	第2ターム	水1, 水2	
16	264A0035	植物環境応答学	大竹 憲邦	2	第4ターム	金3, 金4	
17	263A0029	応用微生物学	杉本 華幸	2	第3ターム	火1, 金1	
18	261A0039	分子微生物学	鈴木 一史	2	第1ターム	月2, 木2	
19	261A0090	栄養生化学	藤村 忍	2	第1ターム	月2, 木2	
20	262A0036	植物バイオマス利用科学	三亀 啓吾	2	第2ターム	月2, 木2	
21	263A0046	花卉園芸学	中野 優	2	第3ターム	火2, 金2	
22	264A0044	土壌生化学	鈴木 一輝・他	2	第4ターム	月2, 木2	
23	261A0032	生物有機化学	佐藤 努	2	第1ターム	水1, 水2	
24	262A0091	畜産食品製造学	西海 理之	2	第2ターム	水1, 水2	
25	263A0041	免疫学概論	原 崇	2	第3ターム	火3, 火4	
26	263A0050	食品・農業情報工学	元永 佳孝	2	第3ターム	金3, 金4	
27	263A0010	生物化学II	伊藤 紀美子	2	第3ターム	月1, 木1	
28	263A0007	有機化学(農)	佐藤 努・他	2	第3ターム	月2, 木2	

新潟大学創生学部 令和8年度（2026年度）
領域学修科目パッケージ案内

発行日／令和8年3月31日

発行者／新潟大学創生学部

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

電話 025-262-6998（創生学部学務係）



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。